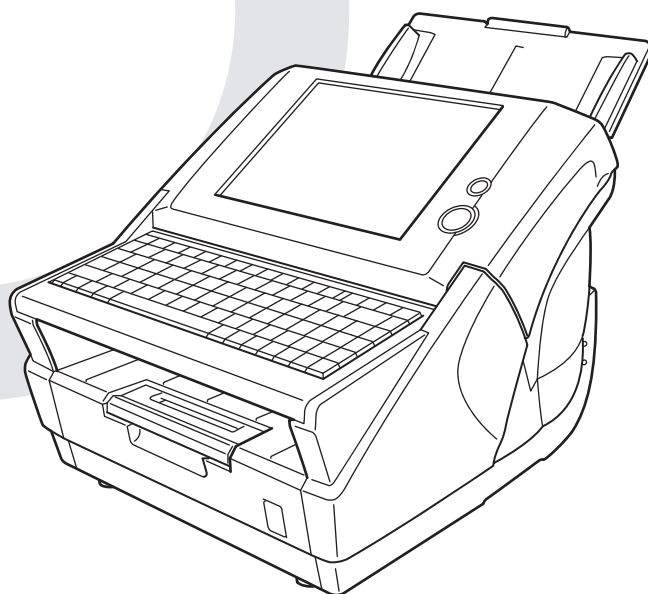


fi-6010N ネットワークスキャナ

スタートアップガイド



目次

はじめに	iii
■ マニュアルの種類	iii
■ 法規制情報	iii
■ 商標	iv
■ 注記および責任事項	v
■ 表記について	vi
■ 安全上のご注意	vii
第 1 章 本装置の特長	1
1.1 本装置の特長	1
1.2 ログイン方法別操作.....	2
1.3 導入から運用までの流れ	3
1.4 本体と付属品を確認します	3
1.5 各部の名称と働き	4
第 2 章 スキャナを設置します	5
2.1 スキャナの設置環境.....	5
2.2 スキャナを設置します	5
2.3 ケーブルを接続します	5
第 3 章 ネットワークの設定を行います	6
3.1 ログインします	6
3.2 パスワードを変更します	6
3.3 スキャナ名を設定します	7
3.4 タイムゾーンを設定します	8

3.5	IP アドレス /DHCP を設定します	8
3.6	接続設定をします	9
3.7	DNS サーバを設定します	10
3.8	WINS サーバを設定します	10
3.9	ネットワークへの接続状態を確認します	11
3.10	本装置を再起動します	11
第 4 章	Admin Tool をインストールします	12
第 5 章	マニュアルをダウンロードします	15
第 6 章	読み取りテストを行います	16
付録 A	タッチパネルを調整します	18
付録 B	日常のお手入れ	19
付録 C	消耗品／オプション品の交換	21
付録 D	ネットワーク通信ができないときには	23
付録 E	トラブルシューティング	28
	修理・お問い合わせについて	31
	コピーライト	33

はじめに

このたびは、fi-6010N ネットワークスキャナをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本装置は、スキャンしたデータを簡単に活用できるネットワークスキャナです。

■ マニュアルの種類

本製品には、次のマニュアルが用意されています。必要に応じてお読みください。

マニュアル	内容
fi-6010N ネットワークスキャナ スタートアップガイド (本書) (紙)	設置方法やケーブルの接続方法、日常のお手入れなどが記載されています。最初にお読みください。本書では、『スタートアップガイド』と省略して記述しています。
fi-6010N ネットワークスキャナ オペレーターガイド (PDF)	本装置の設定や管理、操作方法などが書かれています。あわせてご一読ください。マニュアルを参照するには、本装置からダウンロードしてください。マニュアルのダウンロード方法については、「第5章 マニュアルをダウンロードします」(15 ページ) を参照してください。本書では、『オペレーターガイド』と省略して記述しています。
Scanner Central Admin ユーザーズガイド (PDF)	本装置の集中管理を行うための運用や設定方法などを説明しています。必要に応じてお読みください。

■ 法規制情報

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書および『オペレーターガイド』に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI - B

高調波ガイドラインについて

本製品は JIS C 61000-3-2 適合品です。JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性 - 第 3-2 部：限度値 - 高調波電流発生限度値 (1 相当りの入力電流が 20A 以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

グリーン製品について

本製品は、当社の厳しい環境評価基準 (リサイクル、省エネ化、環境にやさしい素材の採用など) をクリアした地球にやさしい「グリーン製品」として提供しています。詳細は富士通ホームページ「富士通の環境活動」をご参照ください。



<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/>

ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途 (以下「ハイセイフティ用途」という) に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

使用済製品の廃棄とリサイクルについてのごお願い

- 個人でご購入のお客様が本製品 (付属品を含む) を廃棄する場合は、地方自治体の条例等に従って適切に処理してください。
- 法人、企業のお客様が本製品 (付属品を含む) を廃棄する場合は、産業廃棄物扱いで適切に処理してください。

水銀使用について

本製品のランプには水銀が使用されています。危険防止のために下記の事項を厳守してください。

- 口に入れないでください。本製品の水銀が体内に入ると危険です。
- 気体や粉末、液体にしないでください。本製品を焼いたり、砕いたり、科学的処理をした液体を吸引、誤飲すると危険です。

複製について

紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、公共団体や民間団体発行の免許証許可証、公文書、私文書などの複製は違法であり、処罰の対象となります。

紙幣等の偽造防止について

紙幣、有価証券などをスキャナを使用してプリンタに不正に印刷すると、その印刷物の使用如何にかかわらず下記の法律に違反し、罰せられます。
刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条、通貨及証券模造取締法 第 1 条、第 2 条 等

著作権について

書籍、絵画、版画、地図、図面および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内のその他、これらに準ずる限られた範囲内で使用する用途以外は、権利者の許可なしに複製することはできません。

■ 商標

商標および登録商標について

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、および SharePoint は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、および Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
ABBYY および FineReader は、ABBYY の商標です。
その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

商標の表記について

本書では、次の名称について省略して記述しています。

Windows	Windows [®] operating system
Windows XP	Windows [®] XP Home Edition operating system Windows [®] XP Professional operating system Windows [®] XP Professional x64 Edition operating system
Windows Vista	Windows Vista [®] Home Basic operating system (32/64bit) Windows Vista [®] Home Premium operating system (32/64bit) Windows Vista [®] Business operating system (32/64bit) Windows Vista [®] Enterprise operating system (32/64bit) Windows Vista [®] Ultimate operating system (32/64bit)

Windows 7	Windows [®] 7 Starter operating system (32bit) Windows [®] 7 Home Premium operating system (32/64bit) Windows [®] 7 Professional operating system (32/64bit) Windows [®] 7 Enterprise operating system (32/64bit) Windows [®] 7 Ultimate operating system (32/64bit)
Windows 2000 Server	Windows [®] 2000 Server Small Business Server 2000 Windows [®] 2000 Advanced Server
Windows Server 2003	Windows Server [®] 2003, Standard Edition Windows Server [®] 2003, Enterprise Edition Windows Server [®] 2003, Datacenter Edition Windows Server [®] 2003 R2, Standard Edition Windows Server [®] 2003 R2, Standard x64 Edition Windows Server [®] 2003 R2, Enterprise Edition Windows Server [®] 2003 R2, Enterprise x64 Edition Windows Server [®] 2003 R2, Datacenter Edition Windows Server [®] 2003 R2, Datacenter x64 Edition
Windows Server 2008	Windows Server [®] 2008 Standard (32/64bit) Windows Server [®] 2008 Enterprise (32/64bit) Windows Server [®] 2008 Datacenter (32/64bit) Windows Server [®] 2008 R2 Standard (64bit) Windows Server [®] 2008 R2 Enterprise (64bit)
.NET Framework	Microsoft [®] .NET Framework
SharePoint	Microsoft [®] Office SharePoint [®] Server 2007 Microsoft [®] SharePoint [®] Server 2010 (64bit 版 OS でサポート)
Internet Explorer	Microsoft [®] Internet Explorer [®] Windows [®] Internet Explorer [®]
Adobe Reader	Adobe [®] Reader [®]
Admin Tool	fi Network Scanner Admin Tool
集中管理サーバ	Scanner Central Admin Server iScanner Central Admin Server
Central Admin Console	Scanner Central Admin Console iScanner Central Admin Console
ネットワーク共有フォルダ	スキャン画像の保存先とするファイルサーバまたは FTP サーバのフォルダ
SharePoint フォルダ	スキャン画像の保存先とする SharePoint のフォルダ

開発・販売元

株式会社 PFU
〒 212-8563
神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地 (ソリッドスクエア東館)
TEL: 044-540-4538

© PFU LIMITED 2010-2012

■ 注記および責任事項

使用上のご注意

本製品として提供されるマニュアル、装置本体、およびその添付ソフトウェアは、お客様側の責任において使用していただきます。

本製品のご使用によって発生する損害やデータの損失については、当社では一切責任を負いかねます。

また、本製品の障害の保証範囲は、いかなる場合も本製品の代金としてお客様が支払った金額を超えることはありません。あらかじめご了承ください。

本製品にて提供される添付ソフトウェア、および本製品用として当社から提供されるアップデート用添付ソフトウェアについては、本製品に組み込んで使用する以外の使用方法、および改変や分解について一切許可していません。

液晶ディスプレイの特性について

- 本製品の液晶ディスプレイ内の蛍光管には水銀が含まれています。
- 以下の状態は故障ではありません。あらかじめご了承ください。
 - 本製品で使用している TFT カラー液晶ディスプレイは、高精度な技術を駆使して作られています。画面上に常時点灯または点灯しないドットが存在する場合があります。
 - 液晶パネルはその特性上、液晶変化で明るさや色合いに多少むらが発生することがあります。

バッテリーの交換について

本製品では、BIOS 情報などの保持のため、バッテリー (CMOS RAM のバッテリー) を搭載しています。



警告

- バッテリーは交換しないでください。バッテリーは、間違ったタイプと交換した場合には爆発の危険があります。バッテリー容量がなくなった場合には、当社の担当営業員に連絡してください。
- バッテリーには触れないでください。また、バッテリーの取り付けや取り外しは絶対に行わないでください。感電の原因となったり、人体に発生する静電気によって装置に損傷を与える場合があります。

本製品の海外への持ち出しについて

本製品 (ソフトウェアを含む) は、日本国内専用ですので、日本国内でご使用ください。海外における使用に関しては、当社は一切その責任を負いません。

メンテナンスについて

本製品の修理はお客様自身で行わないでください。

本製品を分解した場合は保証の対象外となり、分解によって発生するどのような損害に対しても当社では一切責任を負いかねます。

製品を購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターに連絡してください。

免責事項

読み取り画像の原稿再現性について

本製品によって原稿を読み取ってつくられる読み取り画像がお客様の必要とする精度・品質を満たしていること (たとえば寸法精度、情報量、忠実度、色調等における原稿イメージの再現性) をご確認ください。

また、読み取った原稿を破棄する際は、必ず、読み取り画像を点検したうえでお客様の責任で行ってください。

読み取り画像の一部が欠けたり、損失することがありますので、マニュアルにしたがって、以下の点に注意してください。

1. 原稿の状態 (シワ、折れ、穴あきなど) をご確認ください。
2. 装置内部の清掃をこまめに行ってください。
3. 消耗品は定期的にお取り替えください。

- 原稿の状態によっては、読み取った画像にかすれ、ゆがみ、汚れ、欠けなどが発生して、読み取り画像の一部または全部が欠落することがあります。

- 装置内部が汚れた状態で読み取りを行うと、読み取った画像にかすれ、ゆがみ、汚れ、欠けなどが発生して、読み取り画像の一部または全部が欠落することがあります。

- 読み取り設定 (カラーモード、解像度、読み取り面、自動原稿向き補正、白紙ページ削除など) によっては、原稿が以下のように読み取られません。

- 解像度不足で文字が不鮮明となる
- カラー原稿の読み取り画像がグレースケールまたは白黒となる
- 両面原稿の読み取り画像が片面となる
- 読み取り画像の一部が欠けたり、原稿のサイズと異なるサイズの読み取り画像となる
- 原稿の白紙ページが削除されない、または白紙でないページまで削除される
- 原稿が意図しない向きに読み取られる

- 原稿の状態 (シワ、折れ、穴あきなど) または消耗品の状態により、複数枚の原稿を同時に送り (マルチフィード)、読み取り画像にページ抜けが発生することがあります。

- 原稿が指定内の紙質であっても、原稿の状態 (シワ、折れ、穴あきなど) や装置内の紙送り機構・消耗品の状態により原稿づまりが発生することがあります。この場合、読み取り画像の一部または全部が欠落することがあります。また、原稿づまりにより原稿を損傷することがあります。

■ 表記について

安全にお使いいただくために

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要な事柄が記載されています。本製品をお使いになる前に、本書を熟読してください。特に、本書に記載されている『安全上のご注意』は、必ずお読みいただき、内容をよく理解されたうえで本製品をお使いいただくようにお願いします。

また、本書は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるように、大切に保管してください。

本書で使用している警告表示について

本書では、製品を安全に、かつ正しくお使いいただき、お客様や他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

本書で使用している記号について

本書では、警告表示とは別に、説明中に以下の記号を使用しています。



特に注意が必要な事項が書かれています。必ずお読みください。



操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。



三角で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を示す絵が描かれています。



丸に斜線で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。



黒塗りの丸に白抜きで示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。

警告ラベルについて



高温ラベル

このラベルが貼り付けてある個所は、高温になる場合があります。火傷をするおそれがありますので十分注意してください。



警告ラベルは、絶対にはがしたりよごしたりしないでください。

本書に掲載している画面について

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。

表示された画面が、本書に掲載している画面と異なる場合は、対象ソフトウェアの取扱説明書を参考にして、実際の画面に従って操作してください。

なお、本書に掲載している画面は、Windows Vista のものです。

■ 安全上のご注意

以下の警告事項において電源ケーブルは、AC ケーブルと AC アダプターを接続したものを含まず。



電源ケーブルを傷つけない



電源ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因になることがあります。

電源ケーブルを取り扱う際には、以下の点に注意してください。

- 濡らしたり、加工したり、結んだり、束ねたり、巻きつけたりしない
- 重いものを載せたり、ドアなどにはさんだり、落下させたり、衝撃を与えたりしない
- 引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしない
- 電源ケーブルのプラグに金属を近づけない
また、電源ケーブルや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるい場合は、使用しないでください。

指定された電源ケーブルや接続ケーブルを使用する



指定された電源ケーブルや接続ケーブル以外は使用しないでください。感電や故障の原因となることがあります。

製品に添付された電源ケーブルを他の製品に使用しないでください。感電や故障の原因となることがあります。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。たこ足配線しない



表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。

また、たこ足配線をしないでください。

濡れた手で電源ケーブルを触らない



濡れた手で電源プラグを抜き差ししますと、感電の原因となることがあります。

電源プラグのほこりは、よく拭き取る



電源ケーブル、電源プラグの金属部、および金属部の取り付け面にホコリが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。火災や感電の原因となることがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない



油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

異臭がしたら使用しない



万一、機器から発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに機器本体の電源ボタンを押して電源を切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が消えるのを確認して、スキャナを購入された弊社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターに連絡してください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

機器を破損したら電源を切る



機器を落としたり、カバーなどを破損した場合は、機器本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、スキャナを購入された弊社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターに連絡してください。

内部に水や異物を入れない



開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。



コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が装置内部に入らないように気をつけてください。



水をかけるなどして、本体を濡らさないでください。

異物（水、金属片、液体など）が機器の内部に入った場合は、ただちに機器本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、スキャナを購入された弊社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターに連絡してください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

むやみに内部を開かない



装置を分解したり、改造したりしないでください。内部に高電圧部分があります。

エアスプレーを使用しない



清掃などの目的でエアスプレーおよびアルコールなどを含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、ほこりなどが装置内部に侵入し、故障や装置異常の原因となる場合があります。

また、静電気などによるスパーク（火花）により引火するおそれがあります。

小さなお子様の手の届くところに設置しない



小さなお子様の手の届くところに設置しないでください。けがの原因になることがあります。

温度が高くなる場所に長時間触れない



本体底面などの温度が高くなる場所に長時間触れて使用しないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

使用中にスキャナを覆わない



使用中のスキャナに布団をかけたたりして使用しないでください。熱がこもり、火災の原因となる場合があります。

水場で使用しない



風呂場、シャワー室、プールなどの水場で使用しないでください。感電・火災の原因となります。

海外で使用しない



本製品は日本国内専用です。海外などで使用すると、火災や感電の原因になる場合があります。

⚠ 注意

装置を不安定なところに置かない



スキャナのどの部分も机から突き出さないように置いてください。



装置を不安定な場所に置かないでください。振動の少ない、装置が傾かないような平らな場所に置いてください。

電源プラグを確実に差し込む



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

通気口をふさがない



通気口をふさがりますと、装置の内部が高温になるため、火災や故障の原因となる場合があります。通気口をふさがらないでください。

装置の上に重いものを載せない、上に乗らない



装置の上に重いものを置いたり、装置の上で作業したりしないでください。けがの原因となる場合があります。

寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させた場合は、すぐに使用しない



寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させると、機器が結露する場合があります。そのまま使用すると、原稿読み取り不良となる場合があります。暖かい部屋に1～2時間放置して、内部が乾いてから、使用してください。

装置を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜く



ケーブルを接続したまま装置を移動させますと、ケーブルが傷つき、火災や感電、けがの原因となる場合があります。装置を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。

静電気を避ける



強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避けてください。静電気を発生させますと、誤動作の原因になります。床材や設置する机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。

歯車やローラなどに衣服やネクタイ、髪を巻き込まれないようにする



歯車やローラなどの可動部に衣服の袖やネクタイ、髪を巻き込まないようにしてください。けがの原因となることがあります。

長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く



長時間機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光の当たる場所に置かない



直射日光の当たる所や暖房機の近くには置かないでください。装置内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。また、通気性、換気性の良い場所で使用してください。

紙の取り扱いに注意する



紙を取り扱う際は、紙の縁で手を切るなどのけがをしないように注意してください。

装置を濡らさない



雨天や降雪時に屋外へ持ち出す場合は、濡らさないように注意してください。

衝撃や振動の加わる場所で使用しない



衝撃や振動の加わる場所で使用しないでください。故障の原因となります。

ピックバネに注意する



清掃時は、スキャナ内部を確認しながら、ピックバネ（金属部）に手や布がひっかからないように注意してください。ピックバネ（金属部）が変形して、けがの原因となることがあります。

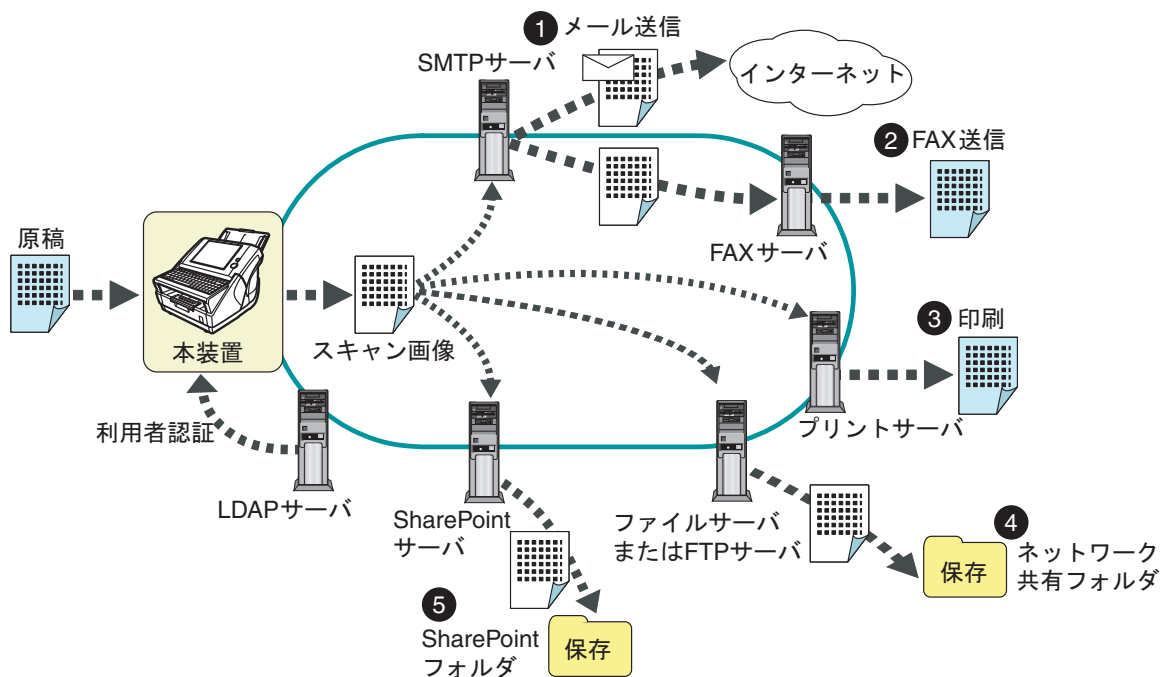
第1章 本装置の特長

1.1 本装置の特長

■ 読み取ったスキャン画像の簡単活用

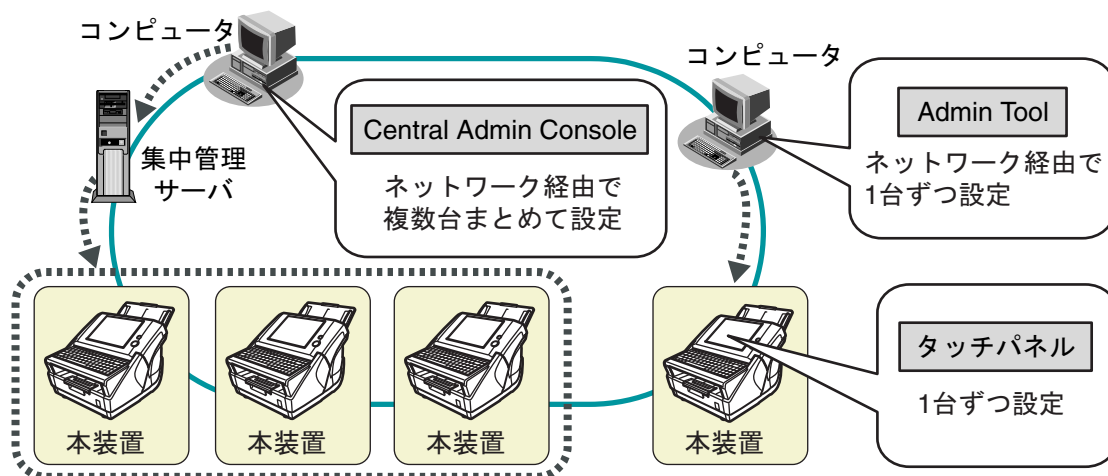
本装置は、読み取ったスキャン画像を、簡単に活用できるネットワークスキャナです。

1. スキャン画像を添付してメール送信できます。
2. スキャン画像を FAX 送信できます。
3. スキャン画像を印刷できます。
4. スキャン画像をネットワーク共有フォルダに保存できます。
5. スキャン画像を SharePoint フォルダに保存できます。



■ 簡単設定・簡単管理

本装置の環境設定や管理を、本装置の「タッチパネル」や、コンピュータにインストールした「Admin Tool」または「Central Admin Console」から簡単に行えます。インストール方法については、『オペレーターガイド』を参照してください。



■ 高度なセキュリティ対策

本装置は、以下のセキュリティ機能を備えています。

- 利用者認証機能により、利用者を限定できます。
- スキャン画像をパスワード付き PDF として出力できます。
- スキャンしたデータは暗号化され、メール送信 / FAX 送信 / 印刷 / フォルダ保存処理後には削除されます。

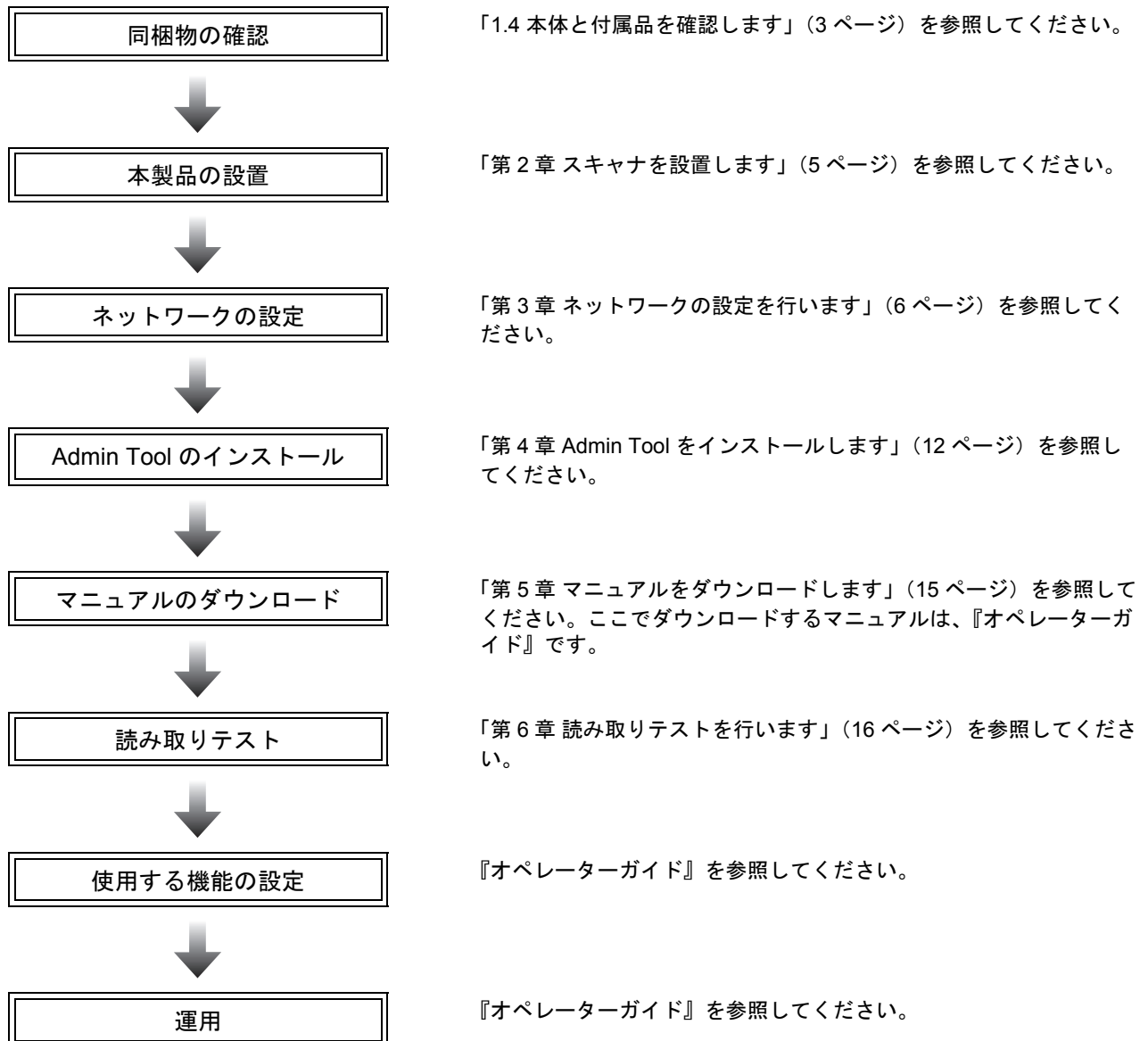
1.2 ログイン方法別操作

ログインするユーザー ID により、以下に分類され利用できる機能が異なります。

詳細については、『オペレーターガイド』を参照してください。

- 管理者
本装置の環境設定や管理を行います。
- 利用者
本装置を利用して読み取ったスキャン画像をメール送信、FAX 送信、印刷、および保存します。

1.3 導入から運用までの流れ



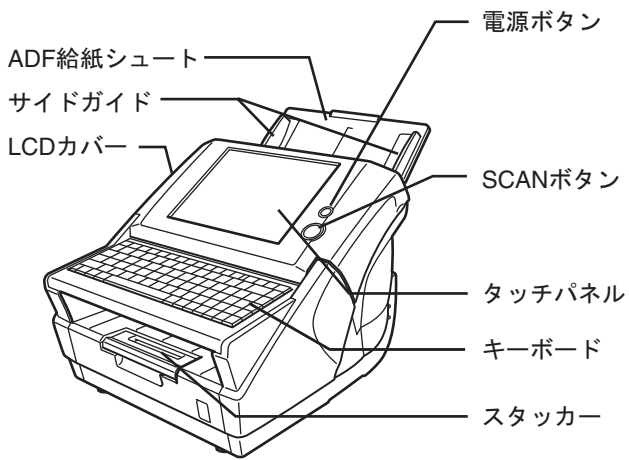
1.4 本体と付属品を確認します

本製品を開梱したら、梱包品がすべてそろっているかどうかを添付の「本体と付属品の確認」で確認してください。万一、足りないものや不良品がありましたら、製品を購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンター (31 ページ) まで連絡してください。
なお、本体と付属品はていねいに取り扱ってください。

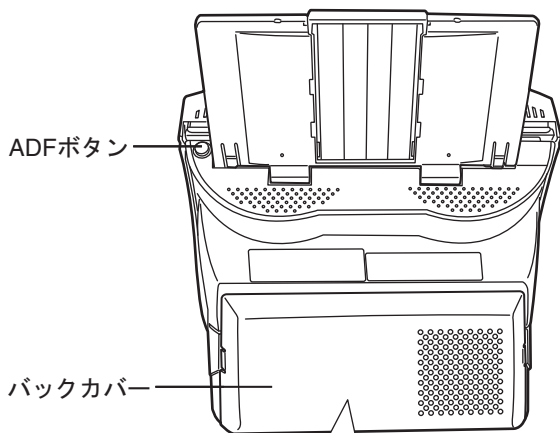
1.5 各部の名称と働き

スキャナの各部の名称について説明します。

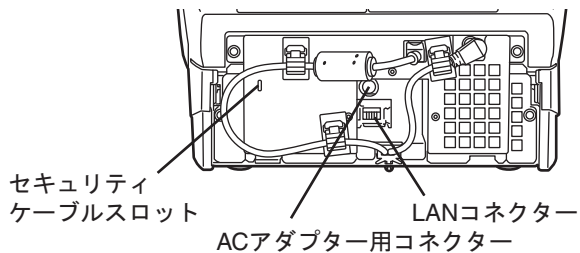
■ 前面



■ 背面

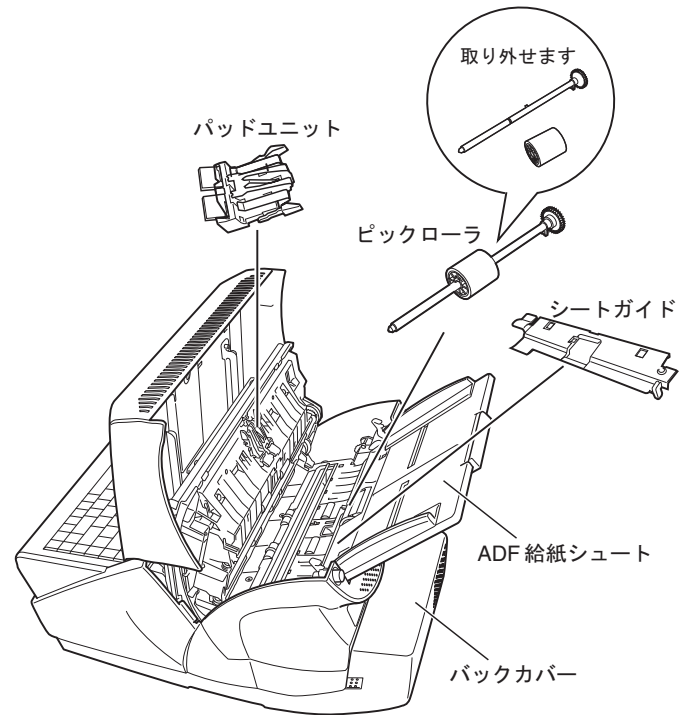


バックカバー内部

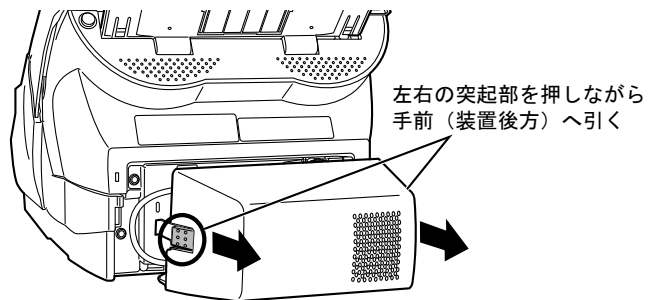


■ 取り外し可能部品

取り外し可能な部品は以下のものです。



装置後部のバックカバーは、バックカバー両側面の突起部を同時に押してロックを外し、そのまま装置後方へまっすぐ引いてください。装置後方へまっすぐ引かなかった場合、バックカバーが破損するおそれがあります。

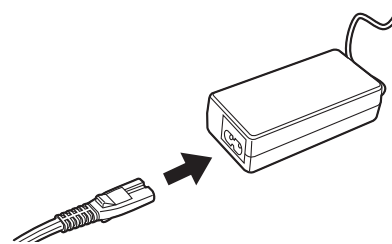


第2章 スキャナを設置します

2.1 スキャナの設置環境

スキャナを設置するために必要なスペースは、以下のとおりです。

- 奥行 : 700mm
- 幅 : 400mm
- 高さ : 500mm



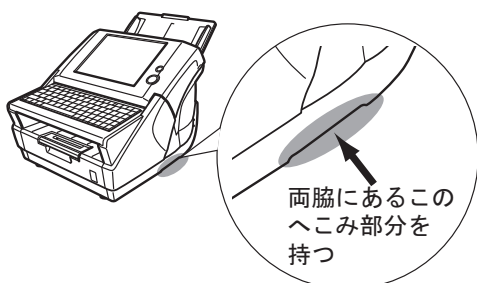
2.2 スキャナを設置します



警告



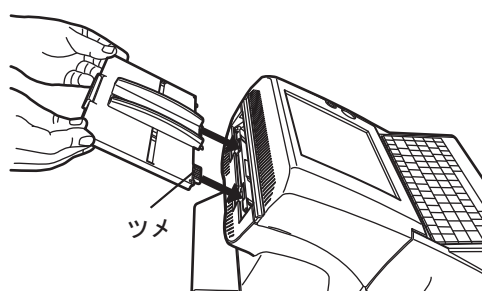
本製品を持ち運ぶ際は、本製品両脇の下部にあるへこみ部分を持って運んでください。違う場所を持つとバランスがくずれ、落下するおそれや部品が破損するおそれがあります。



1. スキャナを設置場所に置きます。

2. ADF 給紙シュートを取り付けます。

ADF 給紙シュートを、スキャナ背面にある穴に ADF 給紙シュートのツメが入るように差し込みます。サイドガイドのある面が上になるように取り付けます。



2.3 ケーブルを接続します

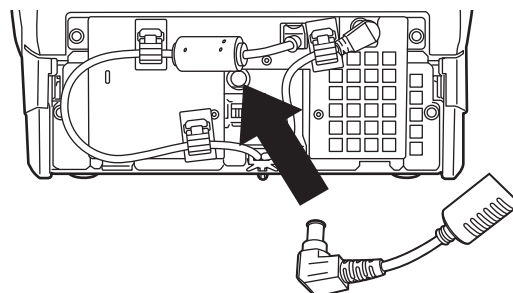
1. AC アダプターと AC ケーブルを接続します。



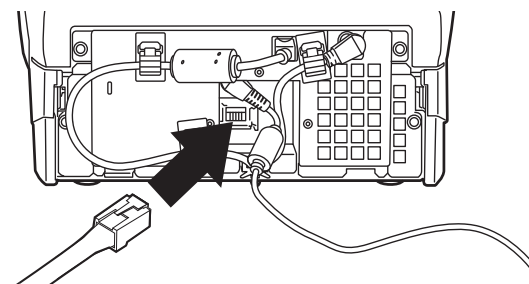
AC アダプターは、必ず添付のものをお使いください。



2. AC アダプターのコネクタを、スキャナ本体の AC アダプター用コネクタに接続します。

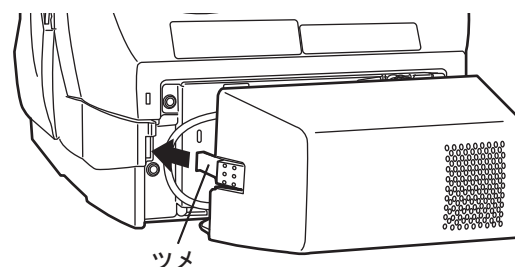


3. LAN ケーブルを LAN コネクタに接続します。



4. 梱包品のバックカバーを取り付けます。

接続した AC ケーブルおよび LAN ケーブルをバックカバーの下部から出した状態で、バックカバーを取り付けてください。



本体とバックカバーが水平になるように左右のツメを同時にまっすぐ差し込む

5. LAN ケーブルのもう一方の端をネットワーク HUB に接続します。

6. AC ケーブルを電源コンセントに接続します。

⇒ 通電されますが、装置はまだ動作しません。

続けてネットワークの設定を行ってください。

第3章 ネットワークの設定を行います

3.1 ログインします



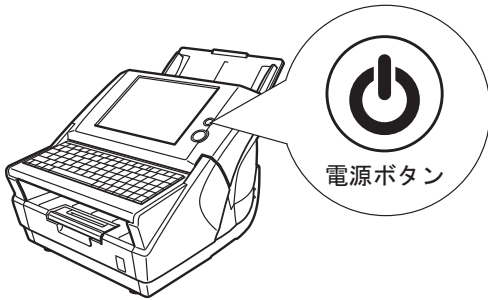
電源を入れたまま、持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。
本製品内部のハードディスクを損傷し、データを消失する原因となります。



ネットワークの設定を行うために管理者としてログインします。
管理者のユーザー名とパスワードの初期値は、以下のとおりです。

- ユーザー名：admin
- パスワード：password

1. 電源ボタンを押します。



⇒ システム起動後、「ログイン」画面が表示されます。



電源を切断した後、すぐに電源を入れる場合は、10秒以上時間をあけてください。

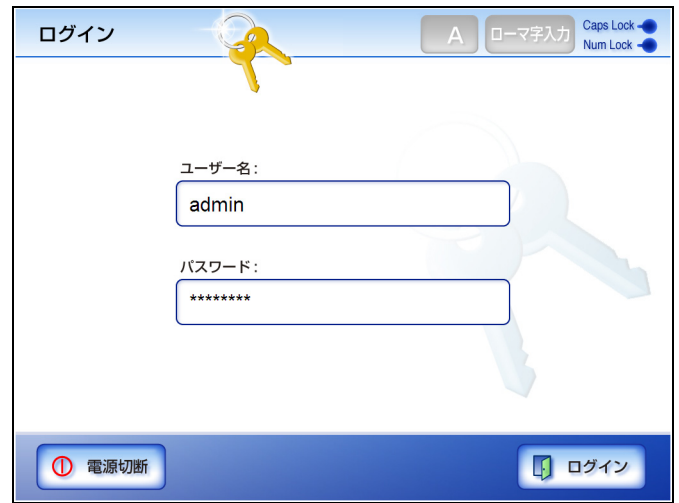


タッチパネルの押す位置がずれている場合は、キャリブレーションを行ってください。詳細については、「付録A タッチパネルを調整します」(18ページ)を参照してください。



2. ユーザー名を入力します。

大文字と小文字は区別されます。
ここでは、「admin」と入力します。



3. パスワードを入力します。

大文字と小文字は区別されます。
ここでは、「password」と入力します。

4. [ログイン] ボタンを押します。

⇒ 管理者として認証され、環境設定の画面が表示されます。

3.2 パスワードを変更します

管理者のパスワードを変更します。



パスワードを忘れた場合は、お客様の責任で装置の修理交換が必要になることがあります。

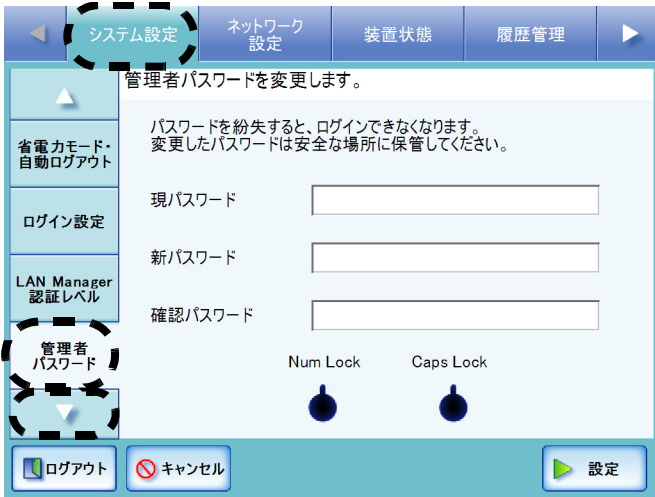


1. [システム設定] ボタンを押します。

2. [▼] ボタンを押します。

⇒ メニューがスクロールして、[管理者パスワード] ボタンが表示されます。

3. [管理者パスワード] ボタンを押します。



⇒ 「管理者パスワード」画面が表示されます。

4. 「現パスワード」、「新パスワード」、および「確認パスワード」を入力します。

パスワードは7文字以上127文字以内の範囲で入力します。半角の大文字、小文字、数字、および記号が入力できます。なお、大文字と小文字は区別されます。

5. [設定] ボタンを押します。

⇒ 管理者パスワードが変更されます。

3.3 スキャナ名を設定します

ネットワークの中で本装置を識別するためにスキャナ名を設定します。

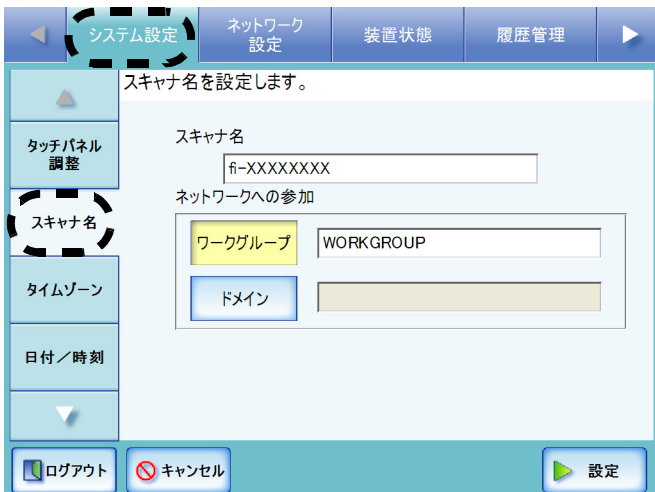


同一ネットワーク内でスキャナ名が重複しないように設定してください。重複した場合、ネットワーク接続時にエラーが表示されます。



1. [システム設定] ボタンを押します。

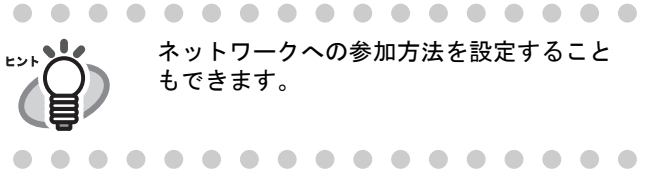
2. [スキャナ名] ボタンを押します。



⇒ 「スキャナ名」画面が表示されます。

3. 「スキャナ名」を入力します。

スキャナ名は半角15文字まで設定できます。使用可能な文字は、大文字、小文字、数字、ハイフンです。数字のみのスキャナ名を設定することはできません。スキャナ名の先頭にハイフンを使用することはできません。

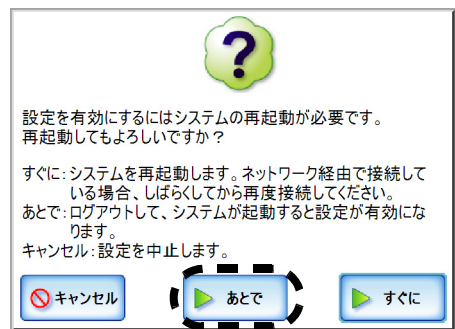


ネットワークへの参加方法を設定することもできます。

4. [設定] ボタンを押します。

⇒ 再起動の確認画面が表示されます。

5. [あとで] ボタンを押します。



⇒ 現在のスキャナ名および次回再起動時に変更になるスキャナ名が表示されます。



スキャナ名が重複した場合、正しく通信できません。そのような場合は以下の対処を行ってください。

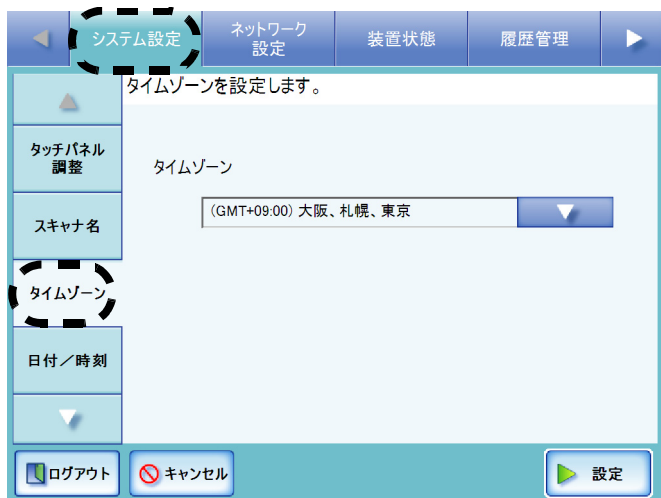
1. LAN ケーブルを抜いて、タッチパネルの [電源切断] ボタンを押して本装置の電源を切断します。
2. LAN ケーブルを抜いたままの状態でも電源ボタンを押して本装置を起動し、スキャナ名が重複しないよう設定します。
3. 本装置を再起動します。
4. LAN ケーブルを接続します。



再起動は本章の設定がすべて終了してから行います。続けて、タイムゾーンの設定を行ってください。

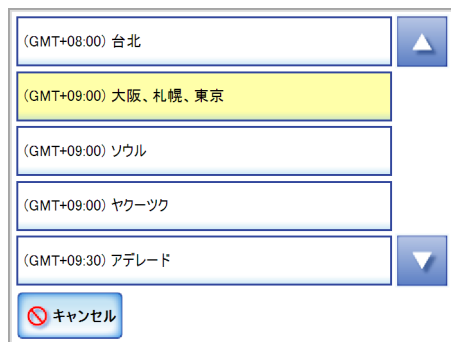
3.4 タイムゾーンを設定します

1. [システム設定] ボタンを押します。
2. [タイムゾーン] ボタンを押します。



⇒ 「タイムゾーン」画面が表示されます。

3. 「タイムゾーン」のリストボタンを押します。
初期値は、[(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京]です。
⇒ タイムゾーン一覧画面が表示されます。
4. タイムゾーンを選択します。



5. 「サマータイム」の適用の有無を選択します。
サマータイムを適用できないタイムゾーンを選択している場合は、表示されません。
6. [設定] ボタンを押します。
⇒ タイムゾーンが設定されます。

続けて、IP アドレス /DHCP の設定を行ってください。

3.5 IP アドレス /DHCP を設定します

ネットワークに接続するために本装置の IP アドレスを指定します。



同一ネットワーク内で IP アドレスが重複しないように設定してください。設定時にエラーとなります。

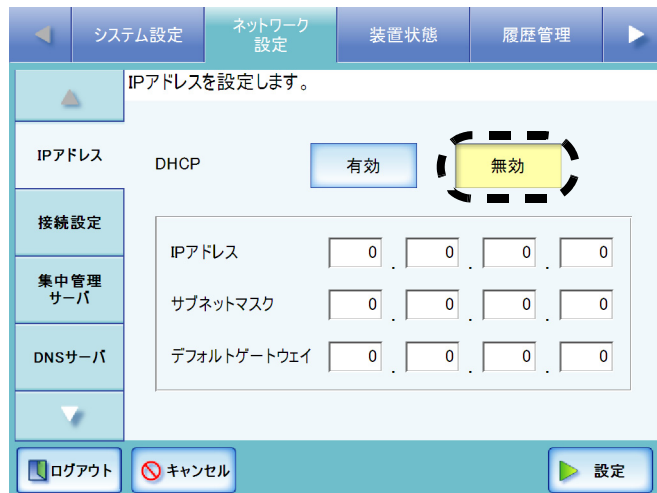


1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [IP アドレス] ボタンを押します。



⇒ IP アドレスまたは DHCP を設定する画面が表示されます。

3. DHCP を使用する場合は、[有効] ボタンを押します。
静的に IP アドレスを設定する場合は [無効] ボタンを押して、以下を半角数字で入力します。
 - IP アドレス
 - サブネットマスク
 - デフォルトゲートウェイ



4. [設定] ボタンを押します。

⇒ 入力内容が設定されます。



IP アドレスが重複した場合、正しく通信できません。そのような場合は以下の対処を行ってください。

1. LAN ケーブルを抜いて、タッチパネルの [電源切断] ボタンを押して本装置の電源を切断します。
2. LAN ケーブルを抜いたままの状態でも電源ボタンを押して本装置を起動し、IP アドレスが重複しないよう設定します。
3. LAN ケーブルを接続します。

DHCP を使用する場合、反映される設定は以下のとおりです。

- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ
- DNS サーバ
- WINS サーバ
- ドメインサフィックス

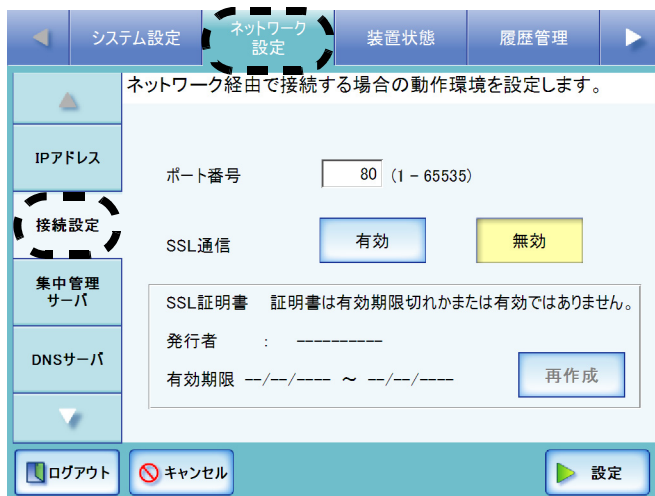
また、本装置で DNS サーバ、WINS サーバを設定した場合は、本装置で設定した値が優先されます。

続けて、接続設定を行ってください。

3.6 接続設定をします

Admin Tool および集中管理サーバから本装置へ接続する際の動作環境を設定します。

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [接続設定] ボタンを押します。



⇒ 「接続設定」画面が表示されます。

3. 「ポート番号」に本装置と Admin Tool および集中管理サーバとの通信に使用する本装置側のポート番号を、1～65535 の範囲で入力します。

初期値は 80 です。



- 135、139、445、および 1025～1124 の範囲は本装置の予約済みポート番号であるため指定できません。
- HTTP : 80、HTTPS : 443 以外のポート番号を指定する場合は、5000 番以上のポート番号にすることを推奨します。5000 番未満のポート番号を指定する場合は、事前に Admin Tool と接続検証してから使用するようしてください。

4. SSL 通信を行うかどうかを選択します。

[有効] ボタンを押すと、SSL 通信を行います。SSL 通信を行う場合、[再作成] ボタンを押して、SSL 証明書を再作成してください。SSL 証明書を再作成すると、SSL 証明書の内容が更新されます。SSL 証明書の内容は、以下のとおりです。

- 発行者
SSL 証明書の発行者が表示されます。
- 有効期限
SSL 証明書の有効期限が表示されます。有効期限は、SSL 証明書の再作成を開始した日付から 5 年後です。日付は日付書式に従います。

[無効] ボタンを押すと、SSL 通信を行いません。

5. [設定] ボタンを押します。

⇒ 入力内容が設定されます。



- 以下の組み合わせの設定はできません。
- ポート番号に「80」、SSL 通信に「有効」を設定する組み合わせ
 - ポート番号に「443」、SSL 通信に「無効」を設定する組み合わせ

続けて、DNS サーバの設定を行ってください。

3.7 DNS サーバを設定します

優先 DNS および代替 DNS を指定します。

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [DNS サーバ] ボタンを押します。

⇒ 「DNS サーバ」画面が表示されます。

3. 以下を半角数字で入力します。

- 優先 DNS
- 代替 DNS

アドレスに、「0.0.0.0」が入力された場合は、何も指定されていない状態となります。DNS サーバの指定が不要な場合は「0.0.0.0」を入力してください。



代替 DNS のみを指定することはできません。



DNS 動的更新と DNS サフィックスを設定することもできます。「完全修飾ドメイン名」には、現在の完全修飾ドメイン名 (FQDN 名) が表示されます。ただし、本装置がネットワークに接続されていないと、FQDN 名が正しく表示されない場合があります。

4. [設定] ボタンを押します。

⇒ 入力内容が設定されます。

続けて、WINS サーバの設定を行ってください。

3.8 WINS サーバを設定します

優先 WINS および代替 WINS を指定します。

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [▼] ボタンを押します。

⇒ メニューがスクロールして、[WINS サーバ] ボタンが表示されます。

3. [WINS サーバ] ボタンを押します。

⇒ 「WINS サーバ」画面が表示されます。

4. 以下を半角数字で入力します。

- 優先 WINS
- 代替 WINS

アドレスに、「0.0.0.0」が入力された場合は、何も指定されていない状態となります。WINS サーバの指定が不要な場合は「0.0.0.0」を入力してください。



代替 WINS のみを指定することはできません。



5. [設定] ボタンを押します。

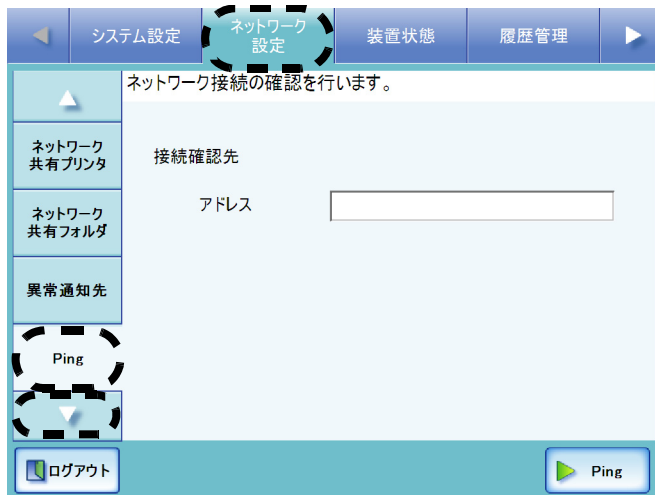
⇒ 入力内容が設定されます。

続けて、ネットワークへの接続状態を確認してください。

3.9 ネットワークへの接続状態を確認します

Ping を使って、ネットワークへの接続ができていないか確認します。

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [▼] ボタンを押します。
⇒ メニューがスクロールして、[Ping] ボタンが表示されます。
3. [Ping] ボタンを押します。



⇒ 「Ping」画面が表示されます。

4. 「アドレス」に接続状態を確認するサーバの IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を入力します。
 - IP アドレスを入力する場合
xxx.xxx.xxx.xxx (xxx は 0 ~ 255 の値) の形式で入力します。
 - ホスト名または FQDN 名を入力する場合
最大文字数は半角 255 文字です。

5. [Ping] ボタンを押します。

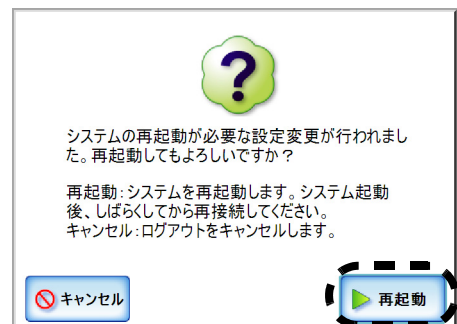
⇒ Ping が実行され、結果が表示されます。「Lost=0 (0% loss)」が表示されれば正常です。それ以外の結果が表示された場合は、「Ping 結果とその対処について」(23 ページ)を参照してください。



ここまでの設定が完了したら、システムを再起動してください。

3.10 本装置を再起動します

1. [ログアウト] ボタンを押します。
⇒ 再起動の確認画面が表示されます。
2. [再起動] ボタンを押します。



⇒ 本装置が再起動され、「ログイン」画面が表示されます。

続けて Admin Tool をインストールしてください。

第4章 Admin Tool をインストールします

管理者は本装置のタッチパネルからだけでなく、ネットワーク経由でコンピュータから設定できます。ネットワーク経由で設定するには、Admin Tool または Central Admin Console が必要です。

Admin Tool では、1 台ずつ装置を設定できます。

Central Admin Console では、複数台の装置をまとめて設定できます。Central Admin Console については、『オペレーターガイド』を参照してください。

ここでは、Admin Tool について説明します。

Admin Tool をコンピュータにインストールするための動作環境は、以下のとおりです。

ソフトウェア (日本語版)	<ul style="list-style-type: none">● オペレーティングシステム<ul style="list-style-type: none">● Windows XP SP3 以降● Windows Vista SP1 以降● Windows 7● Windows Server 2003 SP2 以降● Windows Server 2008● .NET Framework 2.0 SP2 以降、.NET Framework 3.0 SP2 以降、または .NET Framework 3.5 SP1 以降 (*1)● Web ブラウザ<ul style="list-style-type: none">● Internet Explorer 6.0 (Service Pack 2 以降) (*2)● Internet Explorer 7 (*2)● Internet Explorer 8 (*2)● Internet Explorer 9 (*2)
ハードウェア	<ul style="list-style-type: none">● 32M バイト以上の空きメモリ容量● 64M バイト以上の空きディスク容量● サポートするソフトウェアが動作するコンピュータ● XGA 以上のモニタ● LAN ケーブル● ポインティングデバイス (マウスなど)

*1: .NET Framework がインストールされていない場合は、その旨を通知します。マイクロソフトの Web サイトからダウンロードしてインストールしてください。

.NET Framework をインストールする場合、ハードディスク空き容量を確認してください。なお、.NET Framework 2.0 の場合は、約 280M バイトの空きディスク容量が必要です。

*2: 最新のセキュリティ更新プログラムを適用してください。適用してない場合、マニュアルなどのダウンロードができない場合があります。

なお、Windows XP の場合は、Internet Explorer にセキュリティ更新プログラム「KB933566」の適用が必要です。



Admin Tool がインストールされたコンピュータと装置の言語設定は、同じにしてください。

1. Web ブラウザから本装置のスカナ名を URL に指定して接続します。

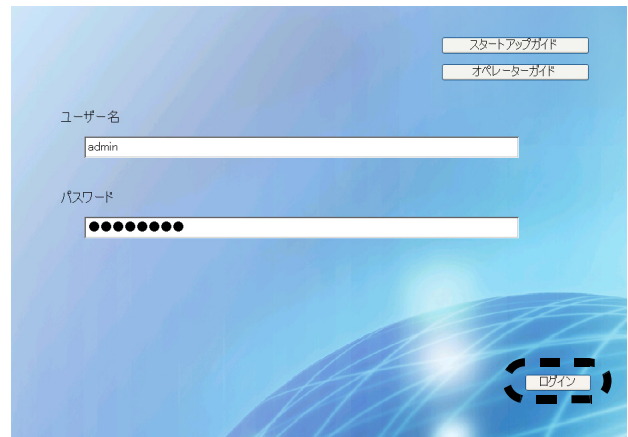
「3.6 接続設定をします」(9 ページ)での設定により、指定する URL は以下のようになります。

- SSL 通信を [無効]、ポート番号変更なしの場合
http:// スキャナ名または IP アドレス /
- SSL 通信を [無効]、ポート番号変更ありの場合
http:// スキャナ名または IP アドレス : ポート番号 /
ポート番号には変更したポート番号を入力してください。
- SSL 通信を [有効]、ポート番号変更なしの場合
https:// スキャナ名または IP アドレス /
- SSL 通信を [有効]、ポート番号変更ありの場合
https:// スキャナ名または IP アドレス : ポート番号 /
ポート番号には変更したポート番号を入力してください。

なお、SSL 通信を行う場合、接続時に「セキュリティの警告」画面が表示されます。「セキュリティの警告」画面では [はい] ボタンを押してください。

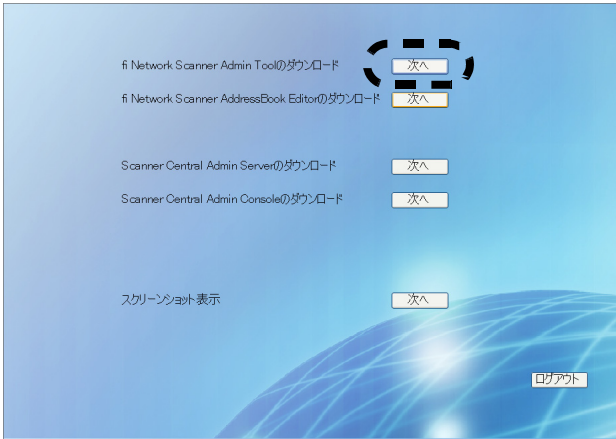
⇒ 「ログイン」画面が表示されます。

2. ユーザー名およびパスワードを入力し、[ログイン] ボタンを押します。



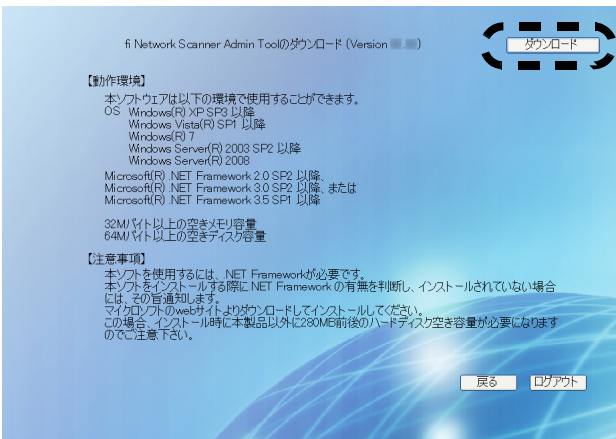
⇒ ダウンロード画面が表示されます。

3. 「fi Network Scanner Admin Tool のダウンロード」の [次へ] ボタンを押します。



⇒ Admin Tool のダウンロード画面が表示されます。

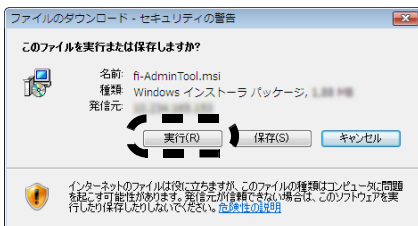
4. [ダウンロード] ボタンを押します。



- 管理者または利用者がスキャナで操作中の場合、ダウンロードすることはできません。
- インストールが完了するまで、Web ブラウザを閉じたり、ログアウトしないようにしてください。

⇒ 「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。

5. [実行] ボタンを押します。

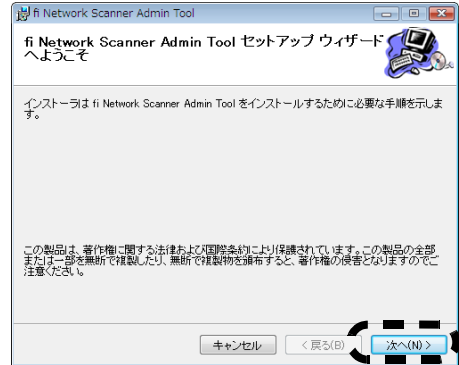


⇒ Admin Tool のインストール画面が表示されます。



.NET Framework がインストールされていない場合は、その旨を通知します。マイクロソフトの Web サイトからダウンロードしてインストールしてください。
.NET Framework をインストール後、再度手順 1 から行ってください。

6. [次へ] ボタンを押します。



⇒ 「インストールフォルダの選択」画面が表示されます。

7. Admin Tool のインストールフォルダを指定します。

[参照] ボタンを押すとフォルダを選択することができます。
指定したフォルダの空き領域が知りたい場合は [ディスク領域] ボタンを押してください。



フォルダのパス長がファイル名を含めて 259 文字以上の場合、正常にインストールすることができません。パス長が短くなるようインストールするフォルダを指定してください。



8. インストールユーザーを選択して、[次へ] ボタンを押します。



- ⇒ 以降は、画面の指示に従ってウィザードを進めてください。「インストールが完了しました。」と表示されればインストール終了です。[閉じる] ボタンを押してください。
- ⇒ インストール完了後、Web ブラウザ上で fi-6010N からログアウトし、Web ブラウザを閉じてください。
- ⇒ インストールが完了すると、[スタート] メニューの [すべてのプログラム] - [fi-scanner V2] - [fi Network Scanner Admin Tool] で Admin Tool が起動できます。

Admin Tool を使って行える設定の詳細および Admin Tool のアンインストール方法については、『オペレーターガイド』を参照してください。
続けてマニュアル『オペレーターガイド』をダウンロードしてください。

第5章 マニュアルをダウンロードします

本製品には、本書以外に『オペレーターガイド』があります。
『オペレーターガイド』には、本装置の設定や管理、操作方法などが記載されています。
本製品をお使いいただく際にお読みください。
『オペレーターガイド』はPDFファイルです。Adobe Reader(*)でご覧ください。

*: Adobe Reader は以下のサイトからダウンロードできます。

<http://www.adobe.com/>

『オペレーターガイド』は、Admin Tool の「ログイン」画面からダウンロードします。
以下の手順でダウンロードしてください。

1. [スタート]メニューの[すべてのプログラム] – [fi-scanner V2] – [fi Network Scanner Admin Tool] を選択します。

⇒ Admin Tool が起動されます。

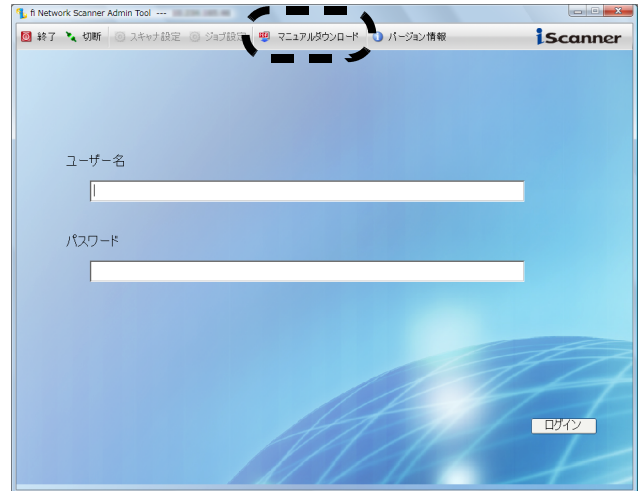
2. 「接続先」を指定します。

設定や管理をしたい本装置の IP アドレス、スキャナ名、または FQDN 名を指定します。



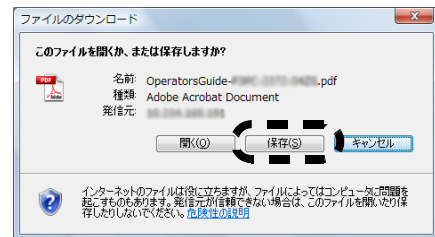
- 「3.6 接続設定をします」(9 ページ) でポート番号を変更した場合、「接続先ポート番号」に変更したポート番号を入力してください。
- 設定されたポート番号以外で接続した場合、接続エラーとなるまでに 20 秒程度かかります。
- SSL 通信を行う場合、「https」のチェックボックスをチェックしてください。
- 空きメモリ容量がない状態で Admin Tool を起動するとスクリプトエラーが発生する場合があります。空きメモリ容量がある状態で再度起動してください。

3. [接続] ボタンを押します。
⇒ 「ログイン」画面が表示されます。
4. [マニュアル ダウンロード] ボタンを押します。



⇒ 「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。

5. [保存] ボタンを押します。

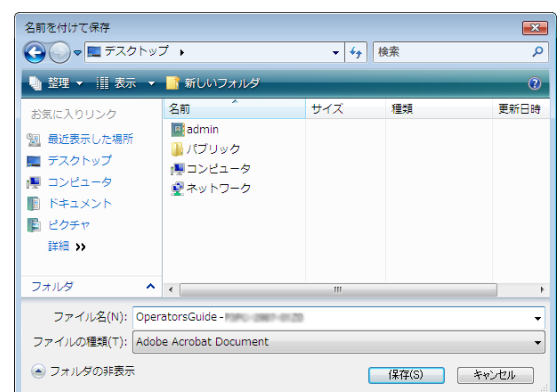


⇒ 「名前を付けて保存」画面が表示されます。



Adobe Reader をインストールしていない場合、[開く] ボタンを押すと、「通信エラー」となります。

6. ファイルの保存先を指定します。



7. [保存] ボタンを押します。

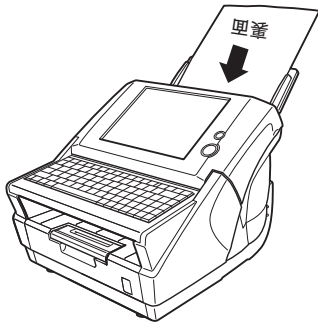
⇒ ファイルが保存されます。

続けて、読み取りテストを行ってください。

第6章 読み取りテストを行います

本装置が正常に動作するか読み取りテストを行います。読み取りテストは本体利用者としてログインして行います。

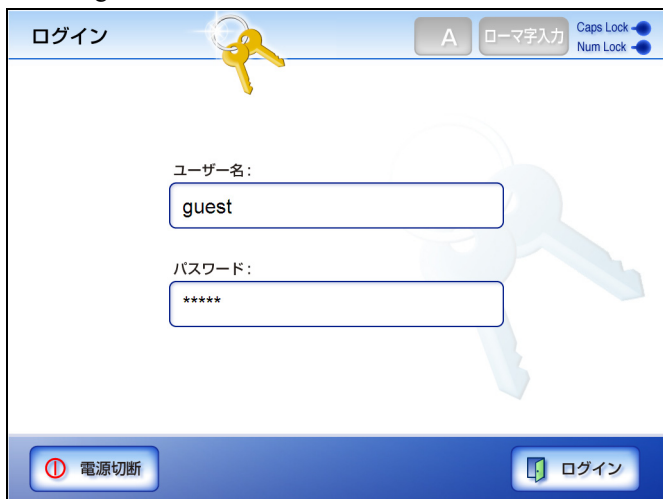
1. 本装置にテスト読み取りのための原稿をセットします。



⇒ 「ログイン」画面が表示されます。ただし、自動的にログインするように設定されている場合、「ログイン」画面は表示されません。手順4に進んでください。

2. 「ログイン」画面で「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。

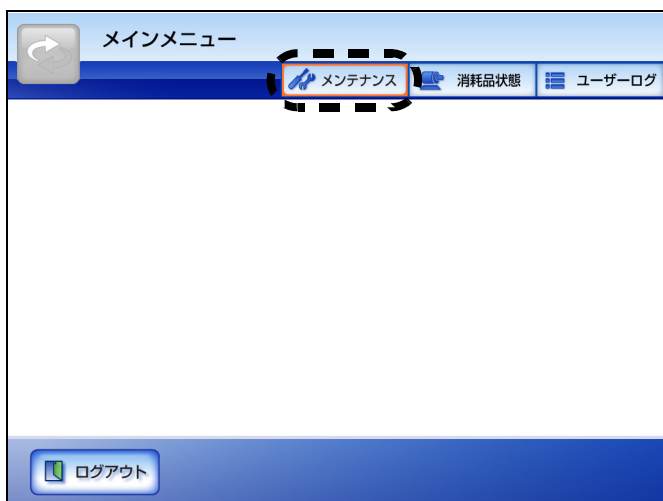
ここでは、「ユーザー名」と「パスワード」に「guest」を入力します。



3. [ログイン]ボタンを押します。

⇒ 本体利用者として認証され、「メインメニュー」画面が表示されます。

4. [メンテナンス]ボタンを押します。



⇒ 「メンテナンス」画面が表示されます。

5. [読み取りテスト]ボタンを押します。



⇒ 「読み取りテスト」画面が表示されます。

6. [スキャン]ボタンを押します。



⇒ 読み取りが開始されます。読み取りが完了すると、「表示&編集」画面が表示されます。

7. スキャン画像を確認します。



8. [OK] ボタンを押します。

⇒ 「メンテナンス」画面に戻ります。

■ スキャンが正常にできた場合

続けて『オペレーターガイド』を第1章から順に参照し、各種設定を行ってください。



guest アカウントを使用しない場合、[システム設定]の「ログイン設定」画面で guest アカウントを「無効」にしてください。



システム設定情報やユーザー情報が、[メンテナンス]の「ユーザー情報操作」画面および「システム設定操作」画面からバックアップできます。これらの設定は Admin Tool から行えます。万々に備え、定期的なバックアップを行ってください。詳細については、『オペレーターガイド』を参照してください。



■ スキャンが正常にできなかった場合

表示されるメッセージ内容によって、それぞれ対処してください。

LCD カバーが開いている場合

- メッセージ
LCD カバーが開いています。LCD カバーを閉じ、原稿を正しくセットして読み取りを行ってください。
- 対処
LCD カバーを閉じて、再度読み取りテストをしてください。

原稿がセットされていない場合

- メッセージ
ADF に原稿がありません。原稿を ADF に正しくセットして読み取りを行ってください。原稿とサイドガイドとの間に隙間ができる場合は、左側のサイドガイドに隙間ができないようにセットしてください。
- 対処
原稿をセットして、再度読み取りテストをしてください。

マルチフィード検出した場合

- メッセージ
用紙サイズの設定と異なる原稿が読み込まれたか、複数の原稿が同時に読み込まれた可能性があります。LCD カバーを開き、自動給紙部から残っている原稿を取り除いてください。
- 対処
マルチフィード検出される原稿を取り除いて、再度読み取りテストをしてください。

ジャム検出した場合

- メッセージ
原稿ジャムが発生しました。ADF から残っている原稿を取り除いてください。
- 対処
以下のいずれかの対処を行ってください。
 - ADF から原稿を取り出してください。
 - 正常に読み取られなかった原稿を取り除いてください。

ジャム検出位置によっては異常なデータが採取され、「表示&編集」画面が表示されることがあります。その時は一度 [OK] ボタンを押して、再度読み取りテストを行ってください。

スキヤナの異常を検出した場合

- メッセージ
スキヤナの初期化に失敗しました。電源を切断し、再度投入してください。それでも発生する場合は、ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターまでご連絡ください。
- 対処
以下のいずれかの対処を行ってください。
 - システムが再起動しない場合は、ログイン画面の [電源切断] ボタンを押して電源を切断後、再度電源を投入し再起動してください。
 - 再起動しても復旧しない場合は、ログイン画面の [電源切断] ボタンを押して電源を切断してから AC ケーブルを抜いてください。10 秒程時間をおいて AC ケーブルを電源コンセントに接続し、再度電源を投入してください。それでも発生する場合は、スキヤナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

予期せぬエラーの場合

- メッセージ
予期せぬエラーが発生しました。電源を切断し、システムを再起動してください。再起動しても現象が発生する場合は、本体の電源コードの抜き差しを行い、システムを再起動してください。それでも発生する場合は、ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターまでご連絡ください。[8桁の英数字]
- 対処
以下のいずれかの対処を行ってください。
 - システムが再起動しない場合は、ログイン画面の [電源切断] ボタンを押して電源を切断後、再度電源を投入し再起動してください。
 - 再起動しても復旧しない場合は、ログイン画面の [電源切断] ボタンを押して電源を切断してから AC ケーブルを抜いてください。10 秒程時間をおいて AC ケーブルを電源コンセントに接続し、再度電源を投入してください。それでも発生する場合は、スキヤナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

付録 A タッチパネルを調整します

タッチパネルの押す位置がずれている場合は、タッチパネルを調整します。

1. 管理者としてログインします。
ログイン方法については、「3.1 ログインします」(6 ページ) を参照してください。
⇒ 環境設定の画面が表示されます。
2. [システム設定] ボタンを押します。
3. [タッチパネル調整] ボタンを押します。
⇒ 「タッチパネル調整」画面が表示されます。
4. [タッチパネル調整] ボタンを押します。



⇒ 補正画面に赤十字（補正点）が表示されます。

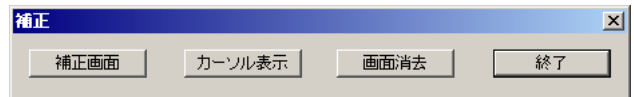
5. 赤十字（補正点）を指先などで押します。
押すと、+が移動します。
止まったところで再度+を押します。



補正画面では、以下のキー操作ができます。

- [Home]
「補正」画面を表示することができます。
- [←][↑][↓][→]
赤十字（補正点）の位置を移動することができます。一度押して、再度押し直したい場合に使用してください。
- [Esc]
タッチパネル調整を中断することができます。通常、使用する必要はありません。
- [Enter]（通常は押さないでください）
エラー出力ダイアログを閉じることができます。

以下の「補正」画面が表示されるまで繰り返して行ってください。



6. 手順5で補正したあと、確認のため画面上を指の先などでなぞります。
⇒ 書いたとおりに線が表示されます。
線を書き直す場合は、「補正」画面で[画面消去]ボタンを押して、線を消してください。
書いたとおりの線が表示されない場合は、「補正」画面で[補正画面]ボタンを押し、手順5からもう一度操作してください。
「補正」画面で[カーソル表示]ボタンは使用できません。
7. 「補正」画面で[終了]ボタンを押します。
⇒ タッチパネルの調整が完了します。



赤十字（補正点）を正確に押していない場合、またはすべての補正点を押す前に[Enter]キーを押した場合は、以下のメッセージが表示されます。
補正点が不正です。再入力してください。
エラーメッセージが表示された場合は、手順5からやり直してください。

付録 B 日常のお手入れ

⚠ 注意



スキャナ使用時は ADF 内部のガラスは高温になります。内部の清掃を行うときは、電源を切断し、AC アダプターをコンセントから抜いて 15 分以上待って温度が下がってから行ってください。フィードローラと排出ローラの清掃をするときは、電源を投入した状態でを行います。

⚠ 警告



清掃などの目的でエアスプレーおよびアルコールなどを含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、ほこりなどが装置内部に侵入し、故障や装置異常の原因となる場合があります。また、静電気などによるスパーク（火花）により引火するおそれがあります。

■ 清掃用具

清掃用品	型名	備考
クリーナ F1	FI-C100CF1	1 ボトル (100ml) 布にしみこませて清掃します。
クリーニングペーパー	FI-C100CP	1 冊 (10 枚入り) クリーナ F1 と共に使用します。
クリーニングワイプ	FI-C100CW	1 箱 (24 袋入り) クリーナ F1 をしみこませたウェットティッシュタイプのクリーナです。クリーナ F1 を布にしみこませる代わりに、本品を使用することができます。
乾いた布	市販のもの	
ScanAid	FI-601SA	詳細については、『オペレーターガイド』を参照してください。

清掃用具の詳細については、スキャナをご購入の弊社 / 販売店または当社 PFU ダイレクトにお問い合わせください。

■ 清掃箇所と頻度

1000 枚読み取りごとに以下を清掃してください。

- パッドユニット
- フィードローラ
- 排出ローラ
- ピックローラ
- プラスチックローラ
- ガラス
- 超音波センサー



以下のような原稿を使用している場合は、頻繁に清掃する必要があります。

- コート紙のように表面が滑らかな原稿
- ほぼ全面に印刷されている原稿
- ノーカーボン紙のように化学物質で加工してある原稿
- カルシウムを多く含む原稿
- 鉛筆書きの原稿を多数読み取る場合
- トナーが十分定着していない原稿

■ ADF の清掃

⚠ 注意



清掃時は、スキャナ内部を確認しながら、ピックパネ（金属部）に手や布が引っかからないように注意してください。ピックパネ（金属部）が変形して、けがの原因となることがあります。

クリーナ F1 をしみこませた布でやさしく ADF を清掃してください。詳細については、『オペレーターガイド』を参照してください。

■ タッチパネルの清掃

タッチパネル表面に、ほこりや汚れがついた場合は、乾いた柔らかい布で定期的に軽く拭いてください。タッチパネルは、慎重に取り扱ってください。表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。



水分を含んだ布などで、タッチパネルを拭かないでください。クリーナ F1 は使用しないでください。

タッチパネルと画面の枠の部分にタッチパネル表面に付着したほこりが固まって噛み込みを起こし、タッチパネルが誤動作する原因となります。

■ キーボードの清掃

キーボードの表面に、ほこりや汚れがついた場合は、乾いた柔らかい布で定期的に軽く拭いてください。



水分を含んだ布などで、キーボードを拭かないでください。クリーナ F1 は使用しないでください。



■ キャリアシートの清掃

キャリアシート表面や内部に、ほこりや汚れがついた場合は、乾いた柔らかい布や、「クリーナ F1 (別売)」または中性洗剤を少量しみこませた柔らかい布を用いて、キャリアシート表面や内部の汚れやほこりを、軽くふき取ります。



- シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 強くこすると、キャリアシートが傷ついたり、変形したりするおそれがあります。
- キャリアシートの内部を、クリーナ F1 または中性洗剤で清掃した後は、十分乾かしてからキャリアシートを閉じてください。
- キャリアシートは、目安として、500 回読み取るごとに交換することをお勧めします。キャリアシートの購入については、スキャナをご購入の販社 / 販売店または当社 PFU ダイレクトにお問い合わせください。



付録 C 消耗品／オプション品の交換

⚠ 注意



スキャナ使用時は ADF 内部のガラスは高温になります。消耗品の交換は、電源を切断し、AC アダプターをコンセントから抜いて 15 分以上待って温度が下がってから行ってください。

交換周期は、A4 原稿 (80 g/m²) の上質紙、または中質紙を使用した場合の目安であり、使用する原稿、お客様の使用頻度、および清掃の頻度によって異なります。



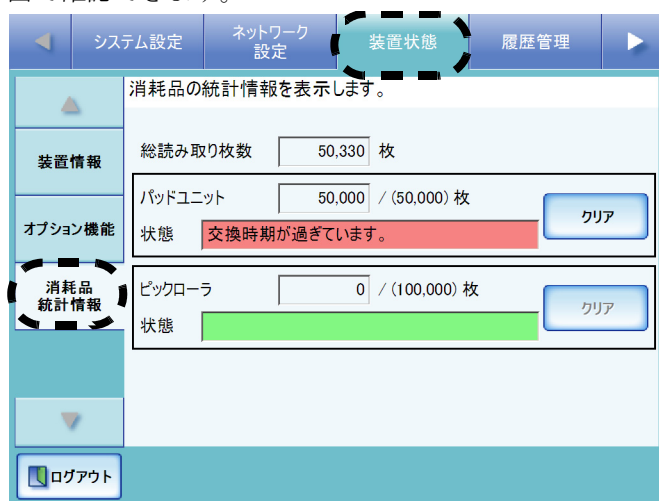
当社指定の消耗品以外は使用しないでください。



以下に、交換する消耗品を図示します。詳細については、『オペレーターガイド』を参照してください。

■ 消耗品の番号と交換周期

消耗品の使用回数は管理者画面の「消耗品統計情報」画面で確認できます。



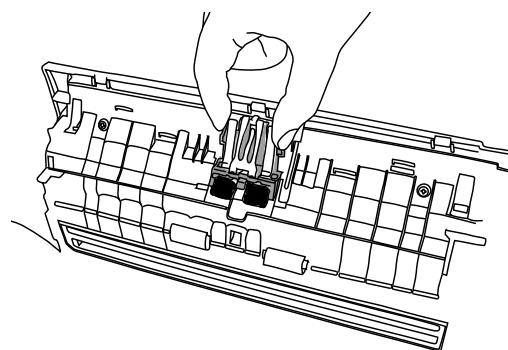
交換時期が近づくと「状態」が橙色で表示されます。また、交換時期を経過すると「状態」が赤色で表示されます。以下に、消耗品の商品番号と交換周期を示します。

品名 (型名)	交換周期 (目安)
パッドユニット (FI-C601P)	読み取った原稿の枚数が 5 万枚、または 1 年ごと
ピックローラ (FI-C601PR)	読み取った原稿の枚数が 10 万枚または 1 年ごと
ScanAid (*) (FI-601SA)	—

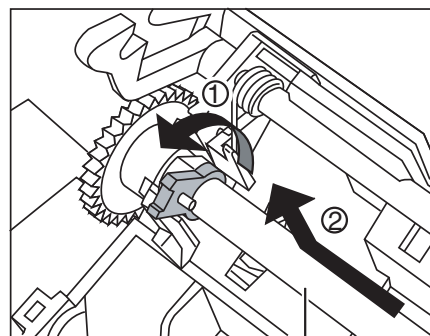
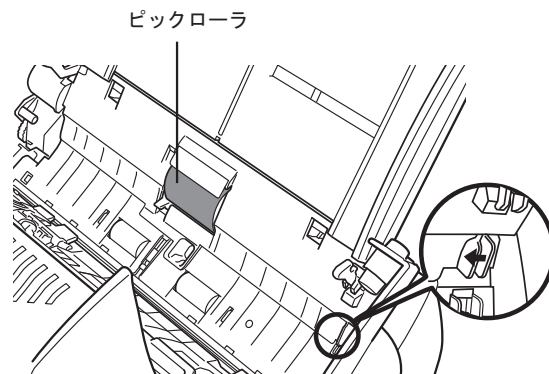
*: ScanAid の詳細については、『オペレーターガイド』を参照してください。

消耗品のご購入については、スキャナをご購入の弊社 / 販売店または当社 PFU ダイレクトにお問い合わせください。詳細については、「修理・お問い合わせについて」(31 ページ) を参照してください。

■ パッドユニット



■ ピックローラ



■ オプション品の番号と交換周期

本製品には「キャリアシート」が1枚添付されています。キャリアシートが、破損、磨耗などによって、読み取りができなくなった場合は、キャリアシートのみを別途ご購入いただくことができます。以下に、オプション品の商品番号と交換周期を示します。

品名 (手配型名)	数量	交換周期 (目安)
キャリアシート (FI-511ES)	5枚	500回読み取るごと

オプション品のご購入については、スキャナをご購入の販社/販売店または当社 PFU ダイレクトにお問い合わせください。

交換周期は、使用状況によって異なります。傷や汚れが目立つ場合は、必要に応じて交換してください。

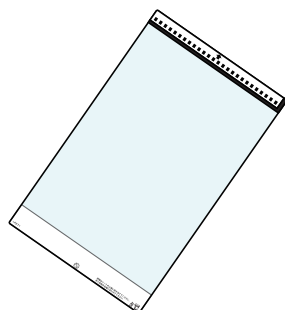


当社指定のオプション品以外は使用しないでください。



以下に、交換するオプション品を図示します。詳細については、『オペレーターガイド』を参照してください。

■ キャリアシート



付録 D ネットワーク通信ができないときには

■ Ping 結果とその対処について

「3.9 ネットワークへの接続状態を確認します」(11 ページ) での Ping 結果により、以下の対処を行ってください。

結果	接続状態	接続確認先の指定方法	対処
「Ping Statistics」情報の Lost 値 「Lost=0 (0% loss)」	○	IP アドレス / ホスト名 / FQDN 名	なし
「Ping Statistics」情報の Lost 値 「Lost=4 (100% loss)」	×	IP アドレス / ホスト名 / FQDN 名	Ping 先に指定した IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名が正しく指定されているかを確認してください。
		IP アドレス	Ping 先に指定した IP アドレスが正しく指定されている場合は、「IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法」(24 ページ) を参照して、対処してください。
		ホスト名 / FQDN 名	「ネットワーク状態」画面で、「Link Speed / Duplex Mode」を「自動検出」から、固定の Link Speed / Duplex Mode に変更してください。変更方法は以下のとおりです。 1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。 2. [▼] ボタンを押します。 3. [ネットワーク状態] ボタンを押します。 4. 「ネットワーク状態」画面で、「Link Speed / Duplex Mode」を選択します。 5. [設定] ボタンを押します。
「Ping Statistics」情報の Lost 値 「Lost=N(1 ~ 99% loss)」	×	IP アドレス / ホスト名 / FQDN 名	LAN ケーブルの品質に問題がある可能性があります、LAN ケーブルを交換して再度実行してください。
		IP アドレス / ホスト名 / FQDN 名	「ネットワーク状態」画面で、「Link Speed / Duplex Mode」を「自動検出」から、固定の Link Speed / Duplex Mode に変更してください。変更方法は以下のとおりです。 1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。 2. [▼] ボタンを押します。 3. [ネットワーク状態] ボタンを押します。 4. 「ネットワーク状態」画面で、「Link Speed / Duplex Mode」を選択します。 5. [設定] ボタンを押します。
「Hardware error」	×	IP アドレス / ホスト名 / FQDN 名	Ping 中に LAN ケーブルが抜けた可能性があります。LAN ケーブルの接続状態を確認して、再度実行してください。

結果	接続状態	接続確認先の指定方法	対処
「Ping request could not find host xxxxxxxx. Please check the name and try again.」	×	ホスト名 / FQDN 名	Ping 先のホスト名または FQDN 名の指定が誤っていないか確認してください。
			DNS サーバまたは WINS サーバの設定が誤っていないかを確認してください。
			Ping 先に指定したホスト名または FQDN 名が正しく指定されている場合は、「ホスト名または FQDN 名指定で、本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法」(25 ページ) を参照して、対処してください。

○ : 正常に接続されています。 × : 接続が不完全です。

■ IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法

本装置から各サーバへ IP アドレスを指定したが、接続できない。または、本装置から Ping を使って、IP アドレス指定でネットワーク通信テストを行っても、各サーバから応答がない場合は、以下の対処を行ってください。

No.	原因	対処
1	各サーバと本装置との接続に誤りがある。または LAN ケーブルに問題がある。	本装置または各サーバに LAN ケーブルが正しく差し込まれていることを確認してください。 また、各サーバとの接続にストレート仕様の LAN ケーブルを使用している場合は、auto-mdi (自動選択) 未サポートのため、本装置と各サーバとの間に、クロス LAN ケーブル、スイッチ機器またはルータ機器のどれかが介在する必要があります。 上記いずれでもない場合は、LAN ケーブルの不良が考えられます。正常に動作した実績がある LAN ケーブルで再度確認してください。
2	IP アドレスやサブネットマスクが間違っている。	「IP アドレス」画面で、IP アドレスやサブネットマスクが正しく設定されているかを確認してください。 「IP アドレス」画面については、「3.5 IP アドレス /DHCP を設定します」(8 ページ) を参照してください。
3	DHCP を使用する場合に、DHCP サーバが正常に動作していない。または、DHCP サーバ側の設定に問題がある。	DHCP サーバの接続状態と DHCP サーバの設定内容を確認してください。 本装置の「ネットワーク状態」画面で、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが正しい値になっているかを確認してください。 これらの値が正しく表示されていない場合は、DHCP サーバが正常に動作していない、または DHCP サーバ側の設定 (リース数制限や MAC アドレス認証など) により正しく IP アドレスが割り当てられていないことが考えられます。 DHCP サーバ環境の見直しを行った場合は、本装置を再起動してください。 「ネットワーク状態」画面は以下の手順で表示します。 1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。 2. [▼] ボタンを押します。 3. [ネットワーク状態] ボタンを押します。

No.	原因	対処
4	本装置と同じ IP アドレスを持つホストまたは通信機器が接続されている。	本装置と同じ IP アドレスを持つホストまたは通信機器と通信した直後に、各サーバの電源を切断しないまま本装置へ接続し、環境設定を変更した場合は、通信できなくなります。各サーバを再起動してください。 本装置と IP アドレスが重複しているホストまたは通信機器が LAN 上に存在すると正しく通信できません。 存在している場合は、重複しているホストまたは通信機器の LAN ケーブルを外し、各サーバを再起動してください。
5	各サーバと本装置の間にファイアウォール装置が設置され、アクセスが禁止されている。	各サーバと本装置の間にファイアウォール装置が設置されている場合は、ファイアウォール装置でアクセスが禁止されていないか確認してください。
6	本装置と各サーバとのネットワークの Link Speed / Duplex Mode が異なっている。または、各サーバ側が自動検出に対応していない。	本装置のネットワークの Link Speed / Duplex Mode は、オートネゴシエーションが初期値になっています。 「ネットワーク状態」画面で、本装置と各サーバとのネットワークの Link Speed / Duplex Mode を一致させるようにしてください。 オートネゴシエーションで正しく動作しない場合は、本装置と各サーバの Link Speed / Duplex Mode を固定にして再度確認してください。 「ネットワーク状態」画面で、「Link Speed / Duplex Mode」を「自動検出」から、固定の Link Speed / Duplex Mode に変更する方法は以下のとおりです。 1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。 2. [▼] ボタンを押します。 3. [ネットワーク状態] ボタンを押します。 4. 「ネットワーク状態」画面で、「Link Speed / Duplex Mode」を選択します。 5. [設定] ボタンを押します。

■ ホスト名または FQDN 名指定で、本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法

ホスト名または FQDN 名指定で本装置から各サーバに、ネットワーク通信しても接続できない。または、本装置から Ping を使って、ホスト名または FQDN 名指定でテストを行っても、各サーバから応答がない場合は、以下の対処を行ってください。

No.	原因	対処
1	「IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法」(24 ページ)と同じ原因。	「IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法」(24 ページ)と同じ対処で、ネットワークの通信が可能になっているかを確認してください。
2	本装置の DNS サーバまたは WINS サーバの設定が誤っている。	本装置の DNS サーバまたは WINS サーバの設定が、正しく行われているか確認してください。
3	DNS サーバまたは WINS サーバが正常に動作していない。または、DNS サーバまたは WINS サーバまでのネットワーク経路に異常が発生した。	Ping により DNS サーバまたは WINS サーバが正常に動作しているか確認してください。 DNS サーバまたは WINS サーバが動作していない場合は、ネットワーク管理者にサーバの状況を確認してください。


■ Web ブラウザ・Admin Tool・集中管理サーバから本装置にアクセスできない場合の対処方法

Web ブラウザ・Admin Tool・集中管理サーバから本装置にアクセスできない場合、および Central Admin Console から集中管理サーバにアクセスできない場合は、以下の対処を行ってください。

No.	原因	対処
1	「IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法」(24 ページ)と同じ原因。	「IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法」(24 ページ)と同じ対処で、ネットワークの通信が可能になっているかを確認してください。
2	DNS サーバ、WINS サーバが正常に動作していない。または、DHCP サーバや WINS サーバに本装置のスキナ名が登録されていない。	IP アドレス指定で接続確認してください。 IP アドレス指定でネットワーク接続できた場合は、本装置のスキナ名の IP アドレスを DNS サーバ、または WINS サーバに登録してください。または、Web ブラウザおよび Admin Tool 側の DNS サーバと WINS サーバの設定が正しいか確認してください。
3	Web ブラウザまたは Admin Tool (LAN 接続)の端末と本装置の間にファイアウォール装置が設置され、HTTP/HTTPS プロトコルでの本装置へのアクセスが禁止されている。	Web ブラウザまたは Admin Tool の端末と本装置の間にファイアウォール装置が設置されている場合は、ファイアウォール装置でアクセスが禁止されていないか確認してください。
4	対象スキナの URL が信頼済みサイトに設定されていない。	Web ブラウザの信頼済みサイトに対象スキナの URL を設定してください。 Internet Explorer で、[ツール]メニューの[インターネットオプション]設定で以下の設定をしてください。 [セキュリティ]タブで「信頼済みサイト」を選択し、[サイト]ボタンを押して、「この Web サイトをゾーンに追加する」に対象スキナの URL を入力し、[追加]ボタンを押してください。
5	Internet Explorer で、[ツール]メニューの[インターネットオプション]にある[セキュリティ]タブで、該当するゾーンのセキュリティレベルが「高」に設定されている。 または、レベルのカスタマイズで「アクティブスクリプト」が「ダイアログを表示」または「無効」に設定されている。	スキナ名で接続した場合は、イントラネットゾーンでの接続になります。また、IP アドレスで接続した場合は、インターネットゾーンでの接続になります。 Internet Explorer で、[ツール]メニューの[インターネットオプション]設定で、対象のゾーンを以下のいずれかで設定してください。 ● アクティブスクリプトを有効にしてください。アクティブスクリプトを有効にするには以下の方法があります。 ● [セキュリティ]タブで「このセキュリティレベルのレベル」を「中」に設定してください。 ● [セキュリティ]タブの[レベルのカスタマイズ]ボタンを押して、[スクリプト]-[アクティブスクリプト]を「有効」に設定してください。 ● インターネットゾーンの場合は、[プライバシー]タブで設定を「中-高」以下に設定してください。 なお、上記の設定を行った後、「インターネット一時ファイル」または「閲覧の履歴」で[Cookie の削除...]ボタンを押して、インターネット一時ファイルを削除してください。
6	本装置が省電力モードになっている。	電源ボタンを押して、本装置を起動してください。

No.	原因	対処
7	プロキシサーバを使用している。	<p>プロキシサーバを使用しない設定にしてください。</p> <p>Internet Explorer で、[ツール]メニューの[インターネットオプション]設定で以下の設定をしてください。</p> <p>[接続]タブの[LANの設定]ボタンを押して、「LANにプロキシサーバを使用する（これらの設定はダイヤルアップまたはVPN接続には適用されません）」のチェックをはずしてください。</p>
8	接続プロトコルの指定に誤りがある。	<p>「接続設定」画面でSSL通信の使用の有無を確認してください。</p> <p>詳細については、「3.6 接続設定をします」(9ページ)を参照してください。</p>
9	ポート番号の指定に誤りがある。	<p>「接続設定」画面で指定したポート番号を指定してください。</p> <p>詳細については、「3.6 接続設定をします」(9ページ)を参照してください。</p>
10	Internet Explorer で、[ツール]メニューの[インターネットオプション]にある[詳細設定]タブで、「セキュリティ」の「SSL 3.0を使用する」のチェックがはずれている。	<p>Internet Explorer で、[ツール]メニューの[インターネットオプション]にある[詳細設定]タブで、「セキュリティ」の「SSL 3.0を使用する」のチェックボックスをチェックしてください。</p>

付録 E トラブルシューティング

症状	点検項目	対処法
電源が入らない。	電源ボタンを押しましたか？	電源ボタンを押してください。
	ACアダプターおよびACケーブルが正しく接続されていますか？	ACアダプターおよびACケーブルを正しく接続してください。 ACケーブルを抜いて一度電源を切断し、再び挿入してください。電源を切断した後、すぐに電源を入れる場合は、10秒以上時間をあけてください。 この方法を試しても電源が入らない場合は、スキャナを購入された販社/販売店またはPFUイメージングサービス&サポートセンターにお問い合わせしてください。
	スキャナの電源を切ってから再び電源を入れ、ログインしなおしても、同じ症状が出ますか？	ACケーブルを抜いて一度電源を切断し、再び挿入してください。電源を切断した後、すぐに電源を入れる場合は、10秒以上時間をあけてください。 この方法を試しても電源が入らない場合は、スキャナを購入された販社/販売店またはPFUイメージングサービス&サポートセンターにお問い合わせしてください。
読み取りが開始されない。	原稿はADF給紙シュートに正しくセットされていますか？	原稿をADF給紙シュートに正しくセットしてください。
	ADFは完全に閉まっていますか？	LCDカバーを完全に閉めてください。
	スキャナの電源を切ってから再び電源を入れ、ログインしなおしても、同じ症状が出ますか？	ACケーブルを抜いて一度電源を切断し、再び挿入してください。電源を切断した後、すぐに電源を入れる場合は、10秒以上時間をあけてください。 この方法を試しても電源が入らない場合は、スキャナを購入された販社/販売店またはPFUイメージングサービス&サポートセンターにお問い合わせしてください。
SCANボタンを押しても読み取りが開始されない。	 があるボタンが表示されていますか？	SCANボタンが有効なのは以下の画面がタッチパネルに表示されている場合です。 ・「メール送信」画面 ・「FAX送信」画面 ・「印刷」画面 ・「保存」画面 ・「表示&編集」画面 ・「読み取りテスト」画面 ・「ジョブメッセージ」画面 ・「読み取り枚数入力」画面 ・読み取りが完了したときの読み取り枚数確認画面
マルチフィードが頻繁に検出される。	原稿の紙質の条件を満たしていますか？	原稿の紙質を満たしている原稿を使用してください。詳しくは、『オペレーターガイド』を参照してください。
	原稿はADF給紙シュートに正しくセットされていますか？	読み取りの前に原稿の束をさばいて、きちんと端をそろえてからADF給紙シュートにセットしてください。
	原稿の束の厚さが5mmを超えていますか？	原稿用紙の枚数を5mmまで減らしてください。
	パッドユニットが汚れていませんか？	パッドユニットを清掃してください。詳しくは、『オペレーターガイド』を参照してください。
	パッドユニットが磨耗していませんか？	パッドユニットを交換してください。詳しくは、『オペレーターガイド』を参照してください。
原稿が送り込まれない。(ピックエラーが頻繁に発生する、または原稿が途中で止まる。)	原稿の紙質の条件を満たしていますか？	原稿の紙質を満たしている原稿を使用してください。詳しくは、『オペレーターガイド』を参照してください。
	ピックローラが汚れていませんか？	ピックローラを清掃してください。詳しくは、『オペレーターガイド』を参照してください。
	ピックローラが磨耗していませんか？	ピックローラを交換してください。詳しくは、『オペレーターガイド』を参照してください。

症 状	点検項目	対処法
原稿が送り込まれない。(ピックエラーが頻繁に発生する、または原稿が途中で止まる。)	搬送路に異物が入り込んでいませんか？	搬送路から異物を取り除いてください。
スキャン画像が間延びする。	フィードローラが汚れていませんか？	フィードローラを清掃してください。 詳しくは、『オペレーターガイド』を参照してください。
スキャン画像の先端に影がある。	フィードローラが汚れていませんか？	フィードローラを清掃してください。 詳しくは、『オペレーターガイド』を参照してください。
スキャン画像に縦線が出る。	ガラス部が汚れていませんか？	ガラス部を清掃してください。 詳しくは、『オペレーターガイド』を参照してください。
スキャン画像の出力結果がずれる、またはゆがむ。	原稿は正しくセットされていますか？	原稿を正しくセットしてください。
読み取り結果がよくない。	ガラス部が汚れていませんか？	汚れている箇所を清掃してください。
管理者パスワードでログインできない。	パスワード入力時に Caps Lock がかかっていませんか？	Caps Lock を解除してもう一度ログインしてください。万一、パスワードを紛失してしまった場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。
画面に「Keyboard error or not keyboard present」のメッセージが表示されて、本装置が起動しない。	電源を切った後、すぐに電源を入れていませんか？	AC ケーブルを抜き、一度電源を切断し、再び挿入してください。電源を切断した後、すぐに電源を入れる場合は、10 秒以上時間をあけてください。 この方法を試しても電源が入らない場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに問い合わせしてください。
文字の入力域にキーボードで入力した内容が反映されない。	文字の入力域が選択されていますか？	再度入力域を選択してください。
		[キャンセル] ボタンを押して、再入力してください。 本体タッチパネルの場合は、直接画面の入力域を触ってから再入力してください。
「ファイルのダウンロード」画面で [保存] ボタンを押しても、保存できない。	保存先のパス長がファイル名を含めて 259 文字以上になっていませんか？	保存先のパス長が短くなるよう保存先を変更してください。
「XXX へ印刷しています。」画面の状態が止まってしまう。	プリントサーバのスプールフォルダが存在するドライブに空き容量がありますか？	プリントサーバのスプールフォルダが存在するドライブに十分空き容量を確保してください。
Admin Tool で表示した管理者画面でダウンロード操作を行った後に [Tab] キーや [Enter] キーがきかない、またはダウンロード操作が実行できない。	[ダウンロード] ボタン、[回避] ボタン、または [保存] ボタンにフォーカスがありませんか？	他の機能を選択し、再度実行してください。
Admin Tool をインストールしようとする、エラーになる。	すでに他の言語の Admin Tool がインストールされていませんか？	すでにインストールされている Admin Tool をアンインストールしてから、再度インストールしてください。

症 状	点検項目	対処法
ネットワーク経由で接続した場合にログイン画面が表示されない。	SSL 通信の設定は正しいですか？	画面を終了し、設定を見直してから再度接続してください。
	HTTPS 接続時に表示される「セキュリティの警告」画面で [はい] ボタンを押しましたか？	画面を終了させてから再度接続してください。接続時に表示される「セキュリティの警告」画面では [はい] ボタンを押してください。

修理・お問い合わせについて

当社では、お客様に安心してイメージスキャナ fi シリーズをご使用いただけるよう、万全のサポート体制を整えています。

購入時にご加入いただく契約サービスと、必要な時にそのつどご利用いただけるスポットサービスにより、お客様を強力にバックアップいたします。

■ 契約サービス

契約サービスには、以下の2種類のサービスメニューがあります。

□ 定額訪問修理サービス

機器の故障発生には、ただちにサービスエンジニアが伺い、迅速で確実な修理作業を行います。
全国サービスネットによる迅速な修理対応を行います。

□ 定額定期保守サービス

お客様に安心して機器を使用していただくために、年一回サービスエンジニアが点検作業に伺います。
機器の故障発生時は上記と同等なサービス対応を行います。
機器点検により品質の維持と障害を未然に防止します。

オプション装着時は、スキャナ本体価格と搭載オプション製品の合計金額となります。消耗品はお客様の費用負担となります。

■ スポットサービス

スポットサービスには、以下の2種類のサービスがあります。

□ 持込／送バック修理

修理窓口まで機器を持ち込んでいただき修理を行います。

持込／送バック修理	基本料 + 部品費 * 送料：発送元負担
引き取り修理サービス（付加）	指定日に修理機を引き取ります。
代替機サービス（付加） * 1	修理中に代替機を貸出します。（引き取りと併用）

* 1： 代替機サービスは、引き取りサービスとの併用でのみご利用できます。代替機サービスのみのご利用はできません。ご了承ください。

診断料	診断後、交換部品が高価などの理由で修理をキャンセルされた場合などにかかります。
-----	---

□ 訪問修理

機器の故障発生時にご連絡いただき、その後、サービスエンジニアが直接修理に伺います。
ハードディスクを交換する場合は、システム管理者に同席していただく必要があります。

訪問修理	訪問基本料金（作業時間 = 1 時間まで）+ 部品費
------	----------------------------

スポットサービスの場合の故障・修理、および各種お問い合わせ	
受付窓口	株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンター
E-mail	scanners@pfu.fujitsu.com
電話	0120-37-9089 042-788-7746（携帯電話からおかけの場合） お問い合わせ内容の正確な把握ならびに当社における対応内容の管理のため、お問い合わせ内容を録音させていただく場合があります。
受付時間	9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00 （土・日・祝祭日・年末年始・当社休業日を除く）
ホームページ	http://imagescanner.fujitsu.com/jp/support/

なお、本サービス内容は、予告なく変更される場合があります。
詳細につきましては、当社ホームページでご確認いただくか、または PFU イメージング サービス&サポートセンターまでお問い合わせください。

■ 消耗品／清掃用品の購入先

消耗品、清掃用品のご購入については、本装置を購入された販社 / 販売店または当社 PFU ダイレクトにお問い合わせください。

ご購入先	
受付窓口	株式会社 PFU PFU ダイレクト
E-mail	shop@pfu.fujitsu.com
電話	0120-14-4541 お問い合わせ内容の正確な把握ならびに当社における対応内容の管理のため、お問い合わせ内容を録音させていただく場合があります。
受付時間	9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00 （土・日・祝祭日・年末年始・当社休業日を除く）
ホームページ	http://www.pfu.fujitsu.com/direct/

- 本製品の修理はお客様自身では行わないでください。
- 本製品の保証条件については、製品に同梱の当社の保証書の規定をご覧ください。保証書には所定事項をご記入の上、大切に保管願います。
- 本製品の修理部品の最低供給期間は、製品の製造打ち切り後 5 年間です。

NetAdvantage

Copyright© 2000-2010 Infragistics, Inc.

LEADTOOLS for .NET

Copyright© 2005 LEAD Technologies, Inc.

WinPcap

Copyright © 1999 - 2005 NetGroup, Politecnico di Torino (Italy).
Copyright © 2005 - 2010 CACE Technologies, Davis (California).
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the Politecnico di Torino, CACE Technologies nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.
This product includes software developed by the Kungliga Tekniska Hogskolan and its contributors.
This product includes software developed by Yen Yen Lim and North Dakota State University.

Portions Copyright © 1990, 1991, 1992, 1993, 1994, 1995, 1996, 1997 The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors."
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE INSTITUTE AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Portions Copyright © 1983 Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Portions Copyright © 1995, 1996, 1997 Kungliga Tekniska Hogskolan (Royal Institute of Technology, Stockholm, Sweden). All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes software developed by the Kungliga Tekniska Hogskolan and its contributors."
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE INSTITUTE AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE INSTITUTE OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Portions Copyright © 1997 Yen Yen Lim and North Dakota State University. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes software developed by Yen Yen Lim and North Dakota State University"
4. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Portions Copyright © 1993 by Digital Equipment Corporation.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies, and that the name of Digital Equipment

Corporation not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the document or software without specific, written prior permission.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND DIGITAL EQUIPMENT CORP. DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL DIGITAL EQUIPMENT CORPORATION BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Portions Copyright © 1995, 1996, 1997, 1998, and 1999 WIDE Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE PROJECT AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE PROJECT OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Portions Copyright © 1996 Juniper Networks, Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that: (1) source code distributions retain the above copyright notice and this paragraph in its entirety, (2) distributions including binary code include the above copyright notice and this paragraph in its entirety in the documentation or other materials provided with the distribution.

The name of Juniper Networks may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Portions Copyright © 2001 Daniel Hartmeier All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Portions Copyright 1989 by Carnegie Mellon.

Permission to use, copy, modify, and distribute this program for any purpose and without fee is hereby granted, provided that this copyright and permission notice appear on all copies and supporting documentation, the name of Carnegie Mellon not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the program without specific prior permission, and notice be given in supporting documentation that copying and distribution is by permission of Carnegie Mellon and Stanford University. Carnegie

Mellon makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

WinDump

Copyright © 1999 - 2005 NetGroup, Politecnico di Torino (Italy).
Copyright © 2005 - 2006 CACE Technologies, Davis (California).
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the Politecnico di Torino, CACE Technologies nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.

Secure iNetSuite

Copyright© 2008 Dart Communications

fi-6010N ネットワークスキャナ

スタートアップガイド

P3PC-2952-04

発行日 2012年2月

発行責任 株式会社 PFU

-
- 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
 - 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責任を負いません。
 - 無断転載を禁じます。
 - 落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

